

広域公園における市民団体活動の 継続性に関する研究



第1章 研究の目的及び方法

●研究背景

参画型社会が進行する中で広域公園の管理運営に関しても数多くの市民参画が認められる。

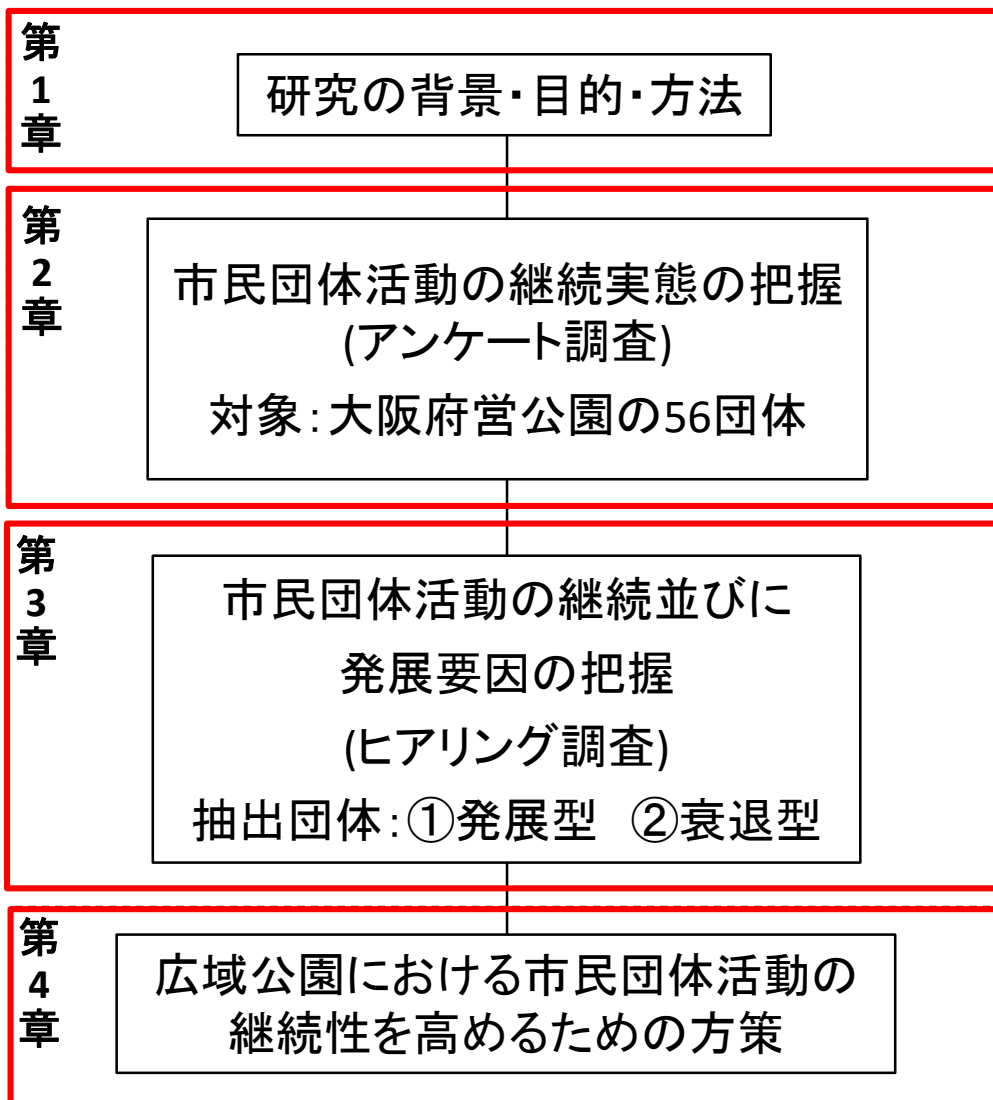
しかし、支援体制の不備や高齢化による担い手不足等の問題で継続的な活動が困難な市民団体も少なくない。



●研究目的

大阪府営公園を対象として広域公園における市民団体活動の継続実態を把握し、活動の継続並びに発展要因を探った。

●論文構成



第2章 市民団体活動の継続実態の把握【調査方法】

【対象公園】

公園名	調査票 配布数	有効 回答数	有効 回答率 (%)
服部緑地	14	10	57.1
寝屋川公園	2	2	
山田池公園	8	2	
久宝寺緑地	6	6	
大泉緑地	10	2	
浜寺公園	4	3	
蜻蛉池公園	1	1	
りんくう公園	7	3	
せんなん里海公園	2	2	
石川河川公園	2	1	
計	56	32	

【アンケート調査】

平成24年8月8日郵送回収方式にて実施

【調査項目】

- ①団体組織：プロフィール、会員構成、役員構成、財政
- ②活動内容：活動場所数、活動内容
- ③サポート体制：新規会員の勧誘、研修体制
他団体との交流

【解析方法】

- ・調査項目結果を単純集計
- ・団体の類型化
→サポート体制との関係を把握

[団体の類型化]

対象：活動年数が5年以上の団体

発展性の指標：会員数の増加率

- 1.2以上：「発展型」(8団体)
- 0.8以上1.2未満：「現状維持型」(6団体)
- 0.8未満：「衰退型」(10団体)

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査方法】

【対象公園】

公園名	調査票 配布数	有効 回答数	有効 回答率 (%)
服部緑地	14	10	57.1
寝屋川公園	2	2	
山田池公園	8	2	
久宝寺緑地	6	6	
大泉緑地	10	2	
浜寺公園	4	3	
蜻蛉池公園	1	1	
りんくう公園	7	3	
せんなん里海公園	2	2	
石川河川公園	2	1	
計	56	32	

10公園

【アンケート調査】

平成24年8月8日郵送回収方式にて実施

【調査項目】

- ①団体組織：プロフィール、会員構成、役員構成、財政
- ②活動内容：活動場所数、活動内容
- ③サポート体制：新規会員の勧誘、研修体制
他団体との交流

【解析方法】

- ・調査項目結果を単純集計
- ・団体の類型化
→サポート体制との関係を把握

[団体の類型化]

対象：活動年数が5年以上の団体

発展性の指標：会員数の増加率

1.2以上	：「発展型」(8団体)
0.8以上1.2未満	：「現状維持型」(6団体)
0.8未満	：「衰退型」(10団体)

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査方法】

【対象公園】

公園名	調査票 配布数	有効 回答数	有効 回答率 (%)
服部緑地	14	10	57.1
寝屋川公園	2	2	
山田池公園	8	2	
久宝寺緑地	6	6	
大泉緑地	10	2	
浜寺公園	4	3	
蜻蛉池公園	1	1	
りんくう公園	7	3	
せんなん里海公園	2	2	
石川河川公園	2	1	
計	56	32	

10公園

【アンケート調査】

平成24年8月8日郵送回収方式にて実施

【調査項目】

- ①団体組織：プロフィール、会員構成、役員構成、財政
- ②活動内容：活動場所数、活動内容
- ③サポート体制：新規会員の勧誘、研修体制
他団体との交流

【解析方法】

- ・調査項目結果を単純集計
- ・団体の類型化
→サポート体制との関係を把握

[団体の類型化]

対象：活動年数が5年以上の団体

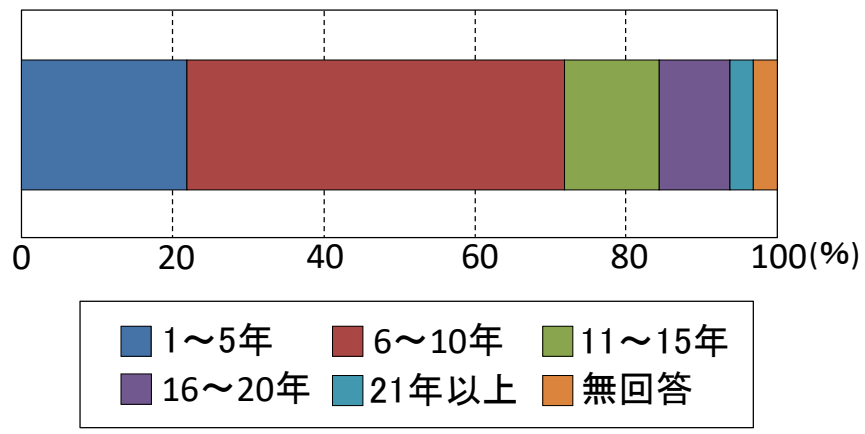
発展性の指標：会員数の増加率

- 1.2以上：「発展型」(8団体)
- 0.8以上1.2未満：「現状維持型」(6団体)
- 0.8未満：「衰退型」(10団体)

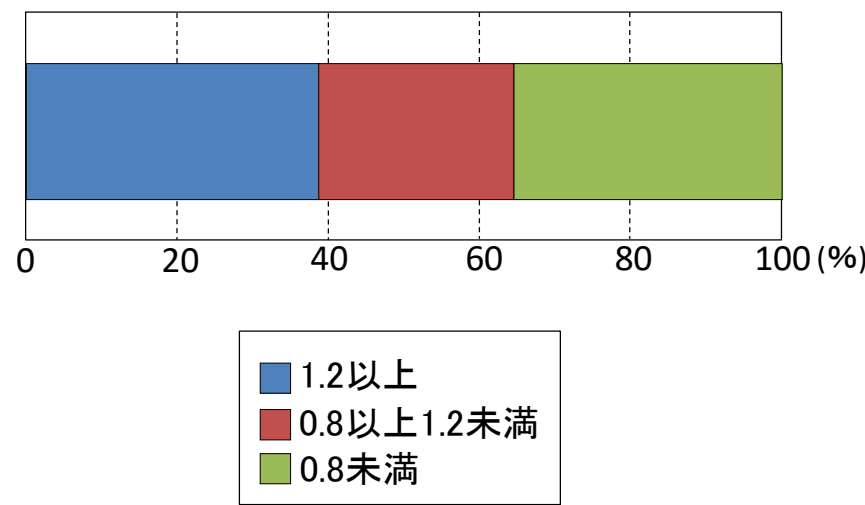
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果①】

●団体組織(32団体の発足当時と現在の状況)

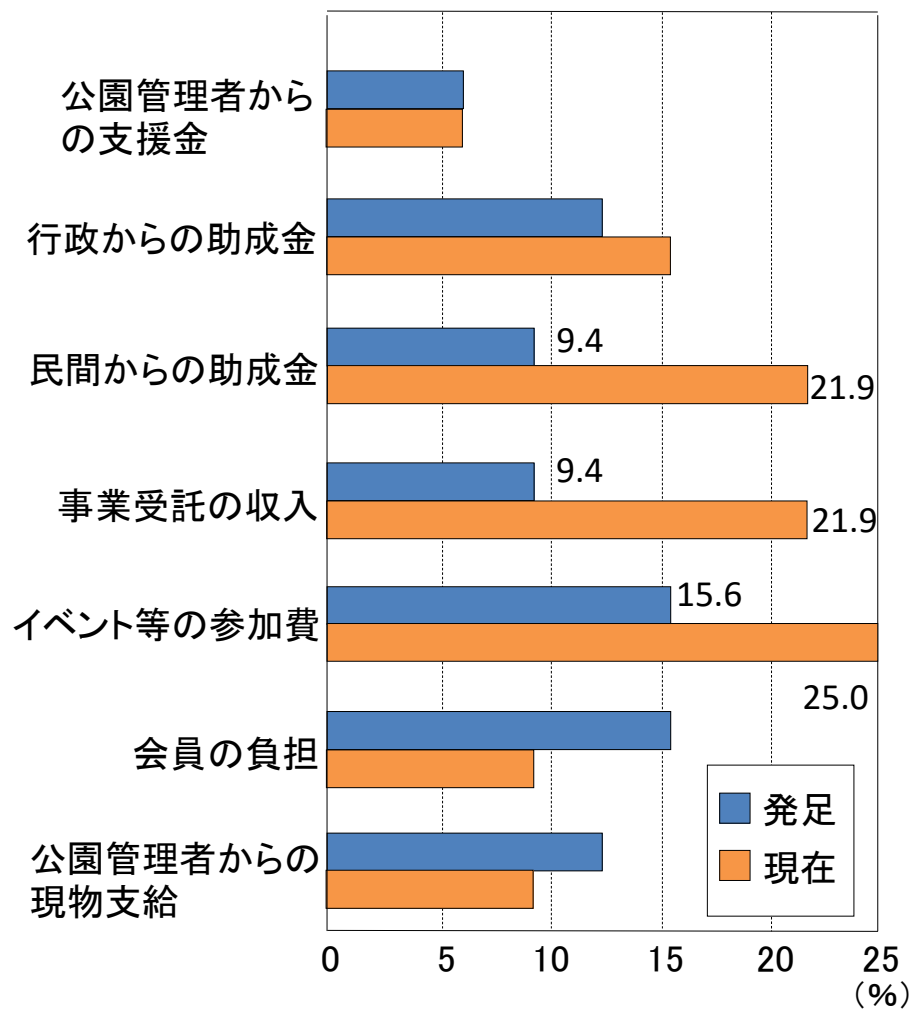
[活動継続年数]



[会員数の増加率]



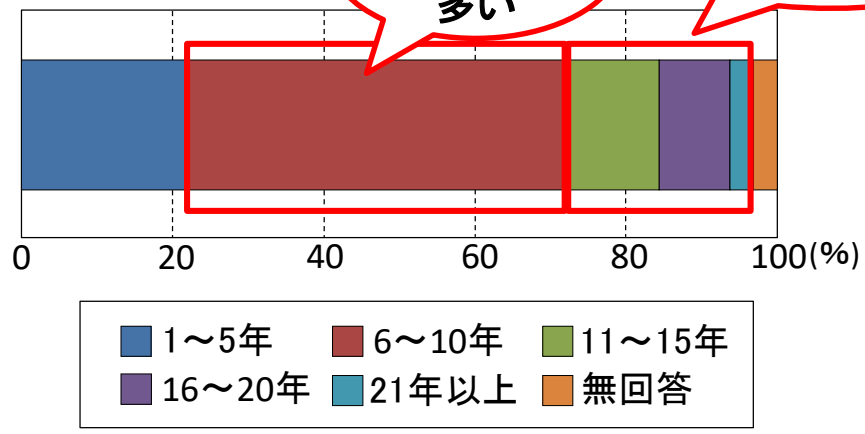
[活動資金の取得方法]



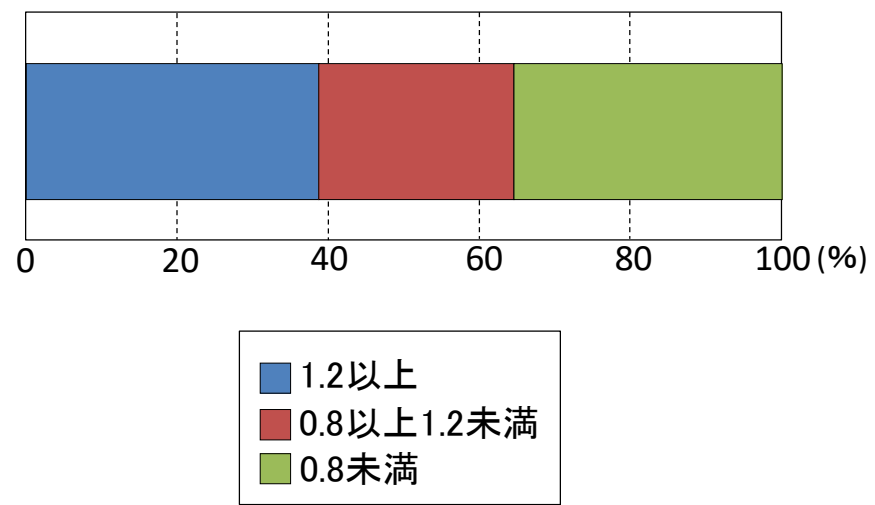
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果①】

●団体組織(32団体)の活動継続年数と現在の状況

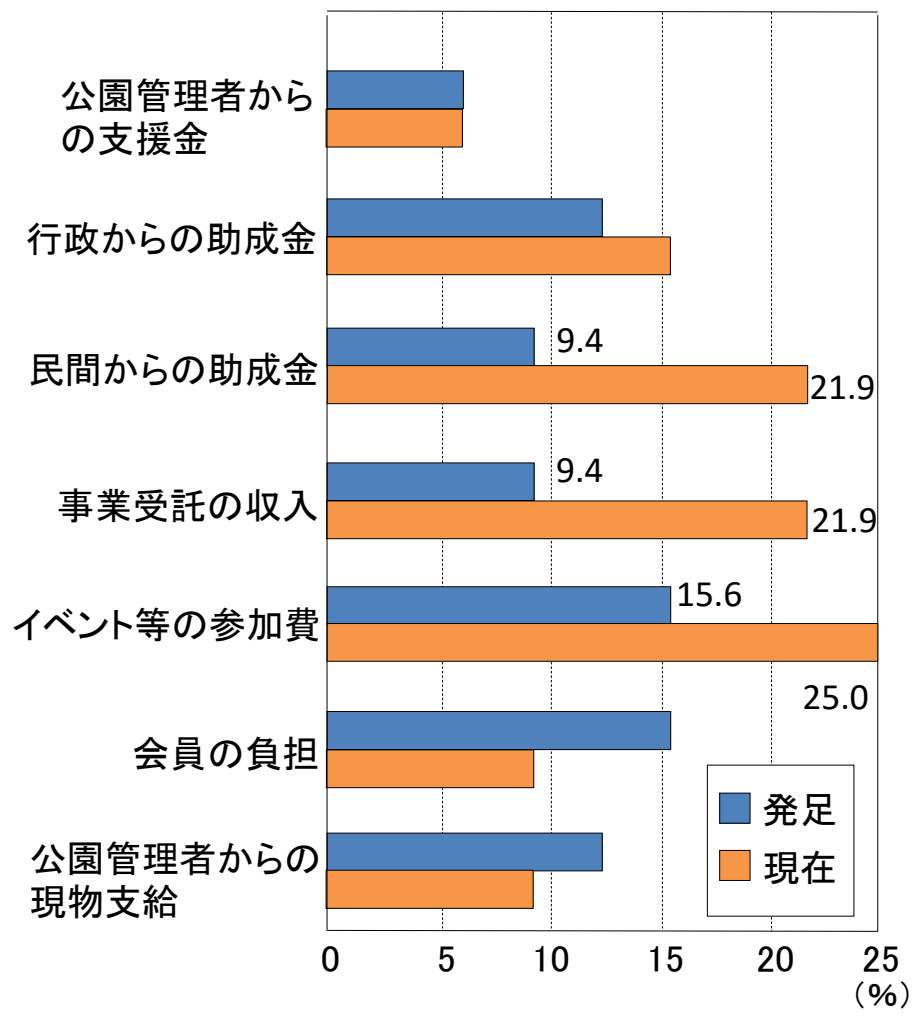
[活動継続年数]



[会員数の増加率]



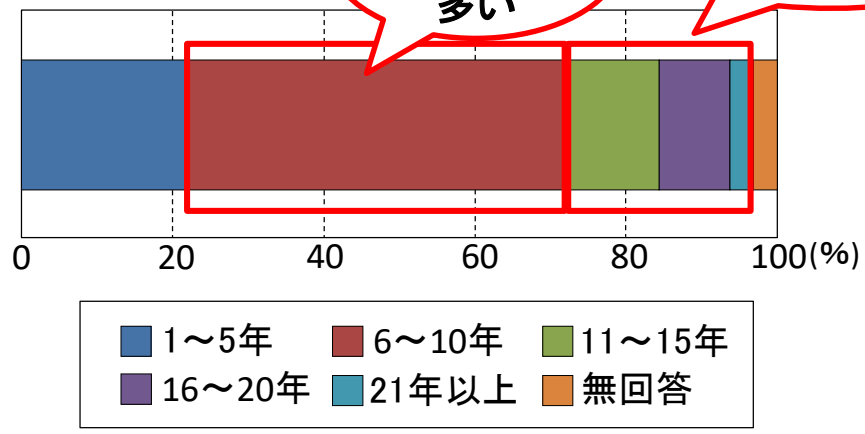
[活動資金の取得方法]



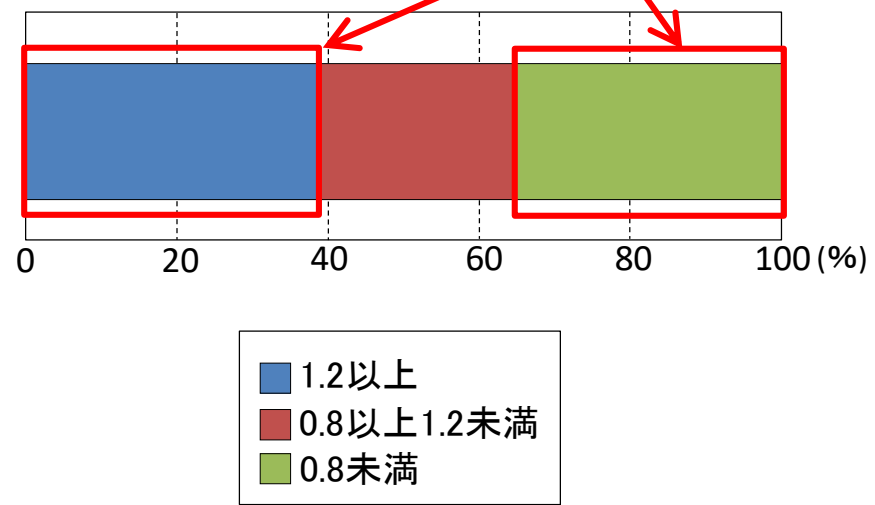
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果①】

●団体組織(32団体)の活動継続年数と現在の状況

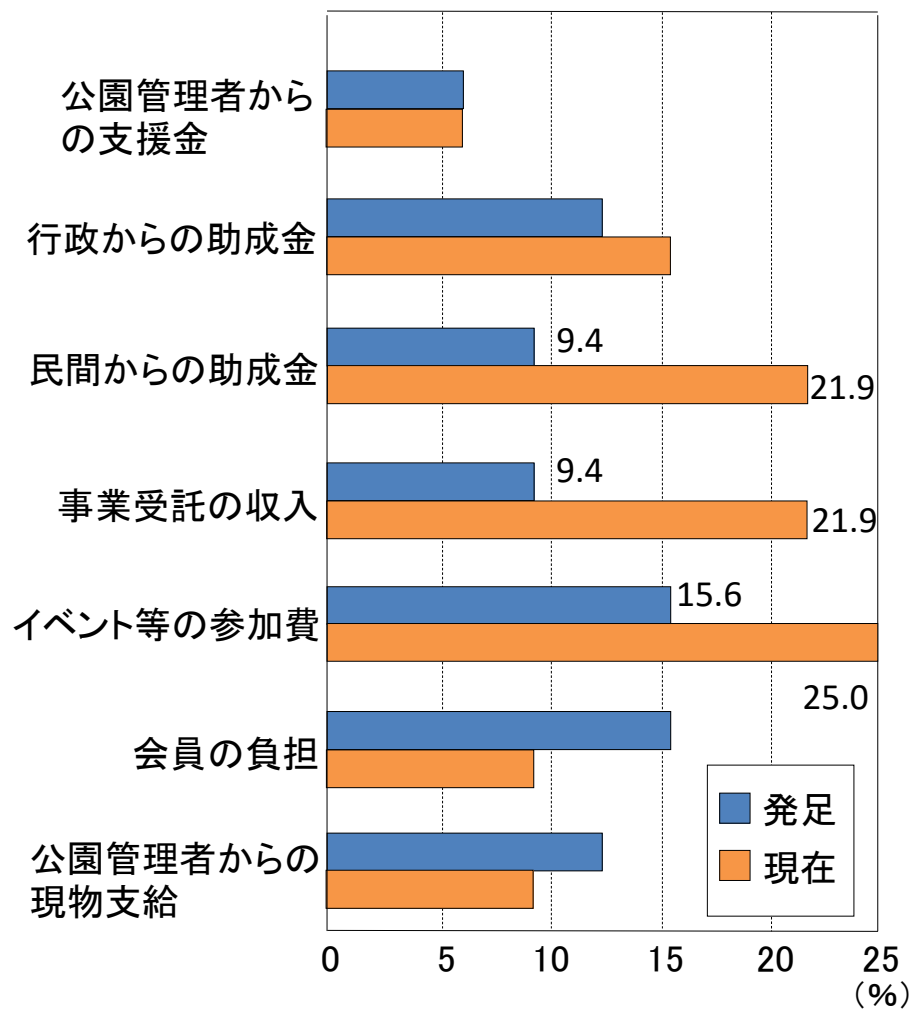
[活動継続年数]



[会員数の増加率]



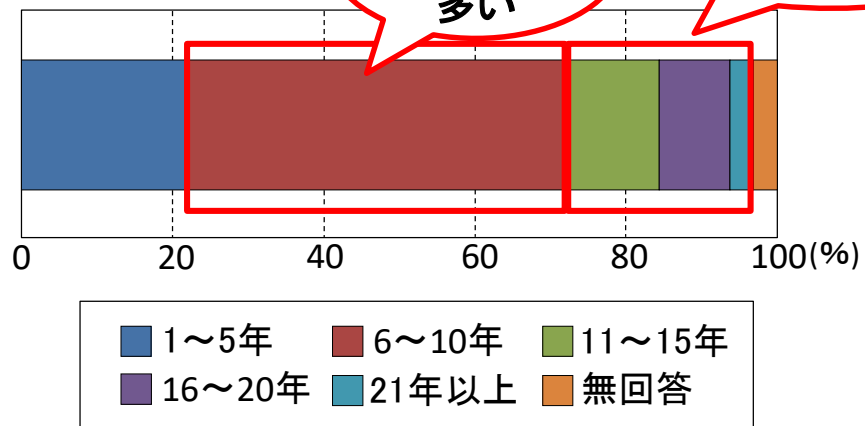
[活動資金の取得方法]



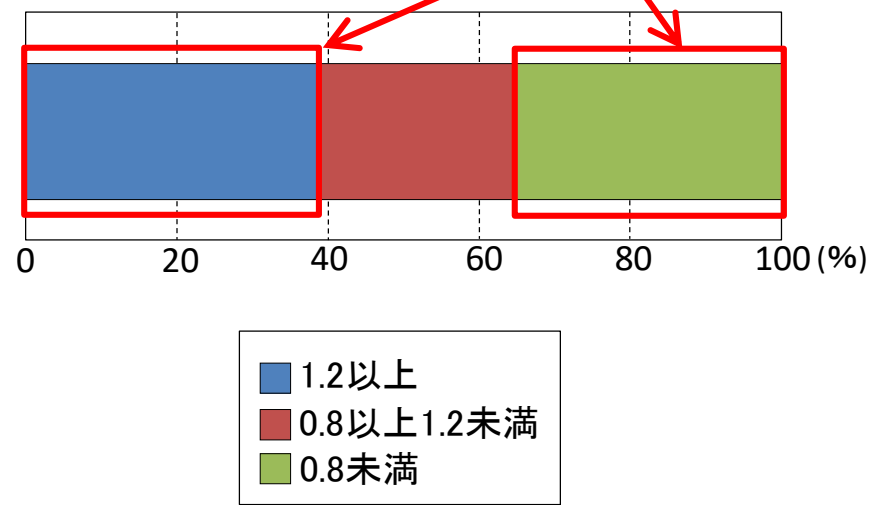
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果①】

●団体組織(32団体)の活動継続年数と現在の状況

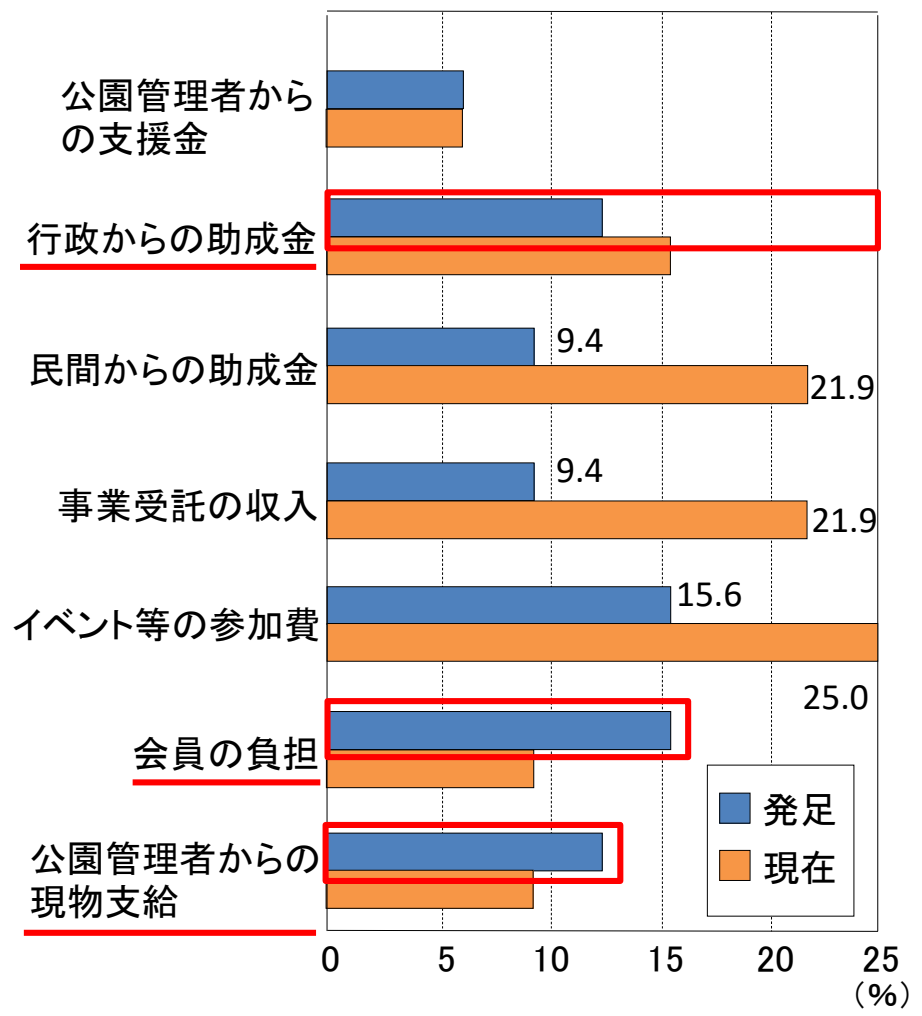
[活動継続年数]



[会員数の増加率]



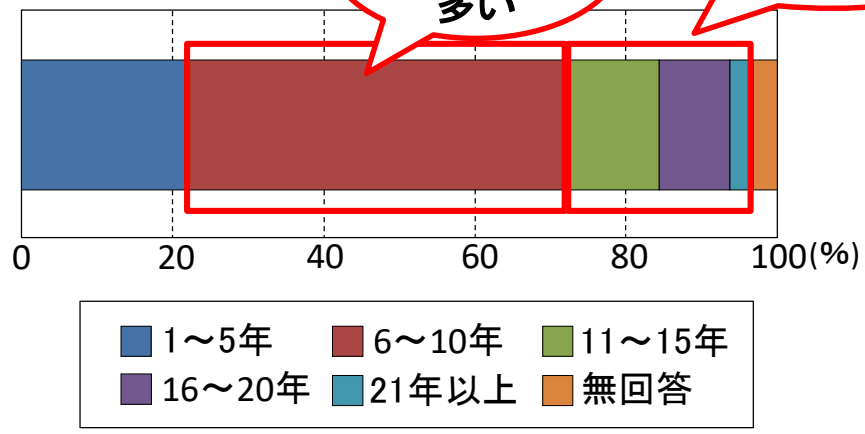
[活動資金の取得方法]



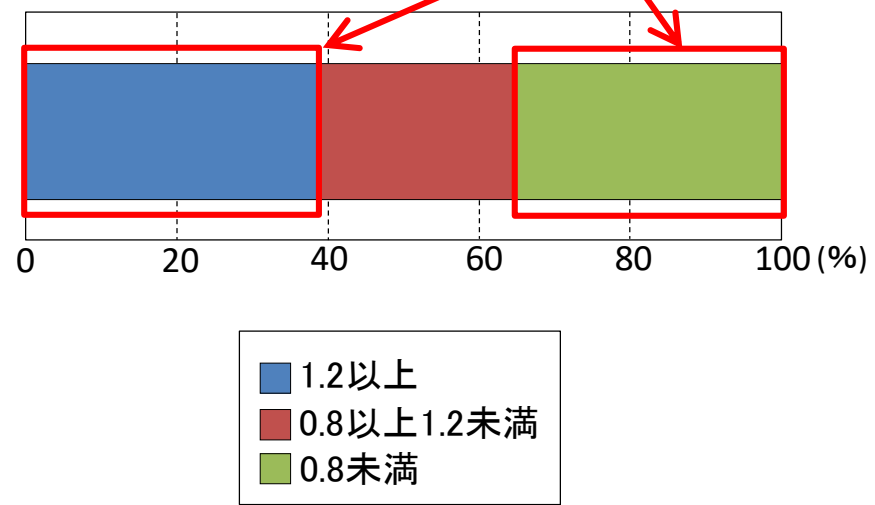
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果①】

●団体組織(32団体)の活動継続年数と現在の状況

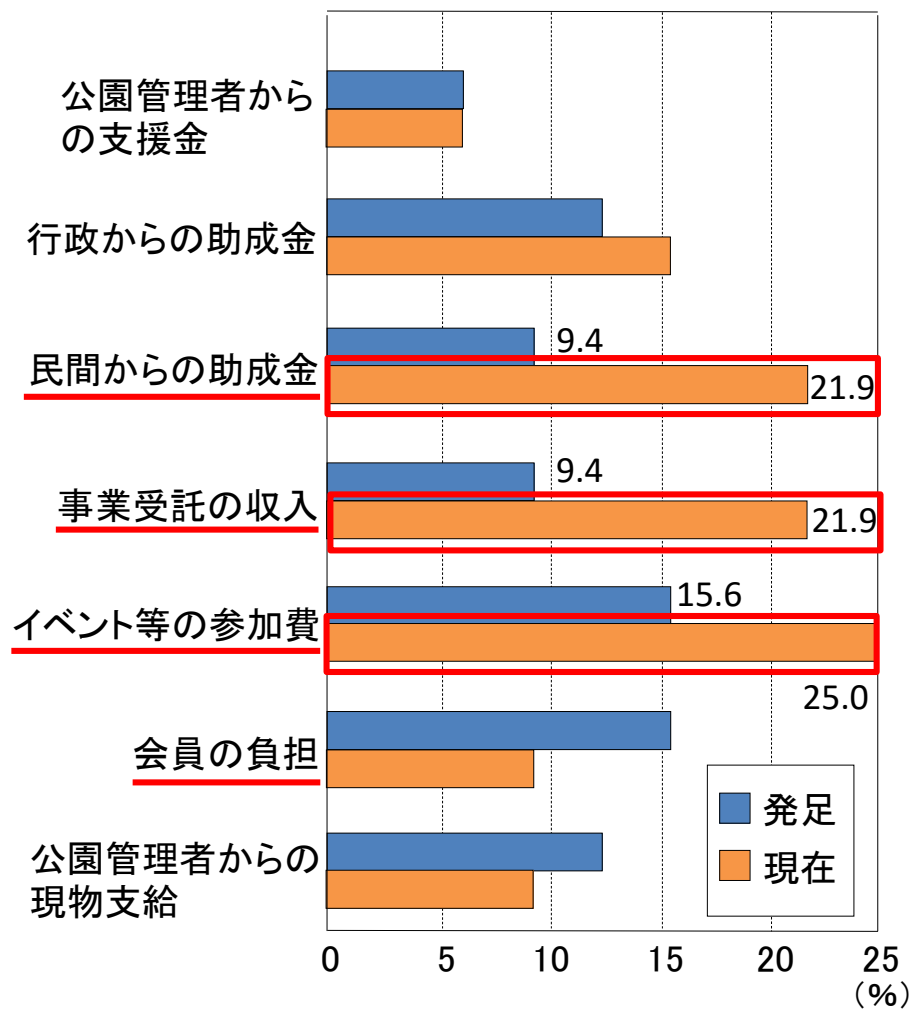
[活動継続年数]



[会員数の増加率]



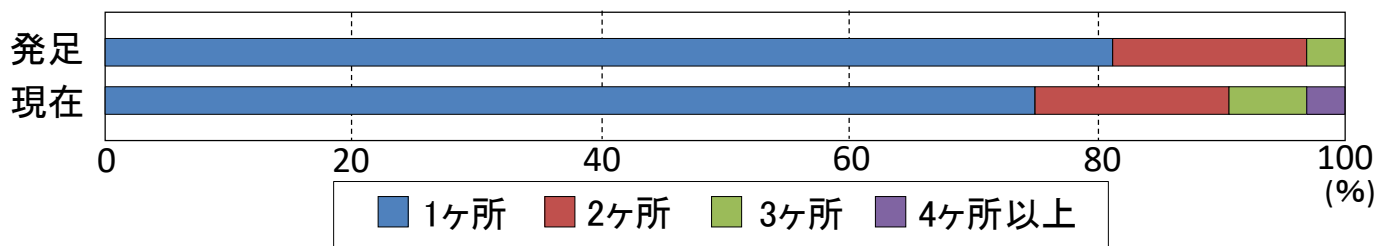
[活動資金の取得方法]



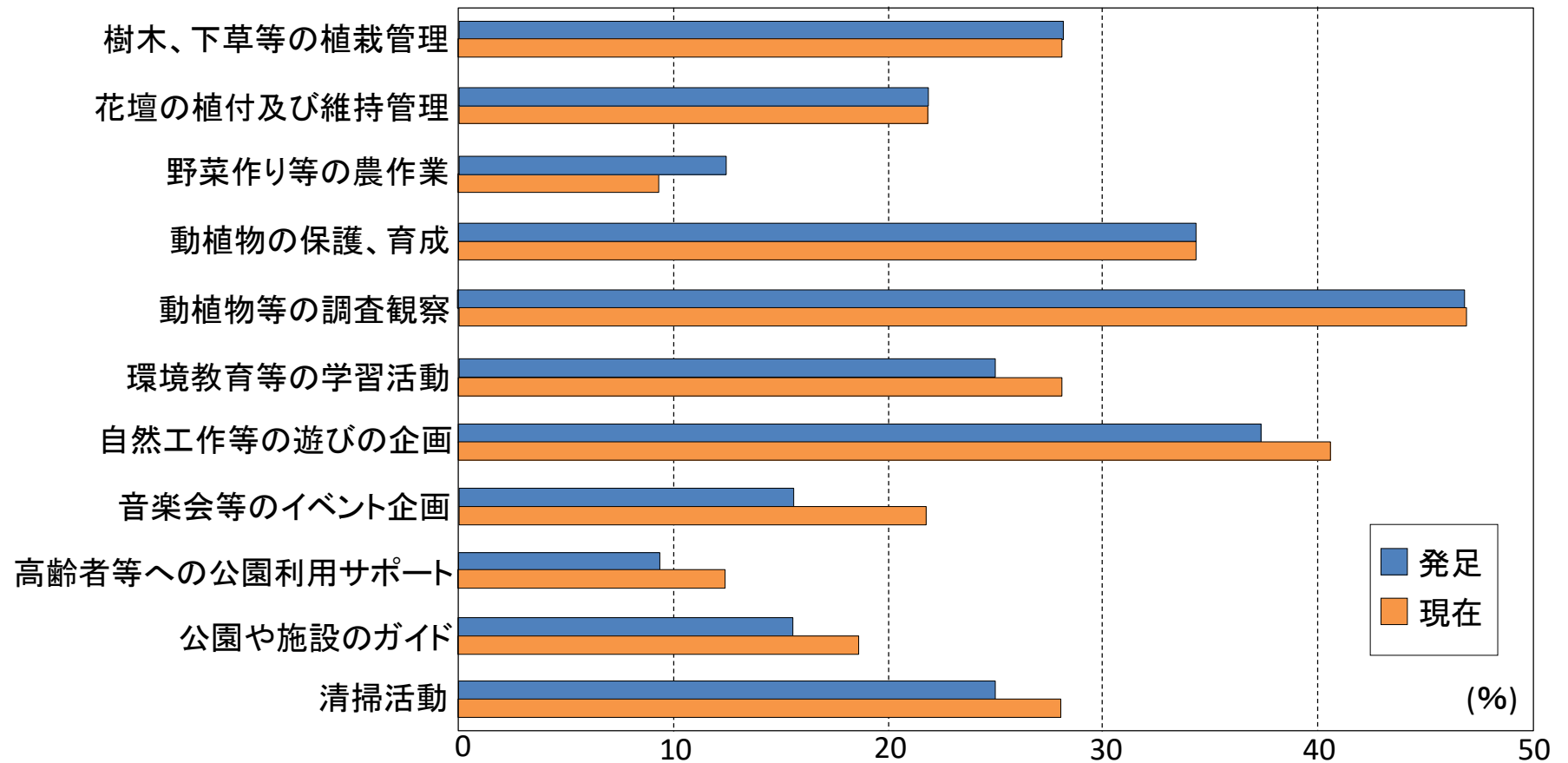
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果②】

●活動内容(32団体の発足当時と現在の状況)

[活動場所数]

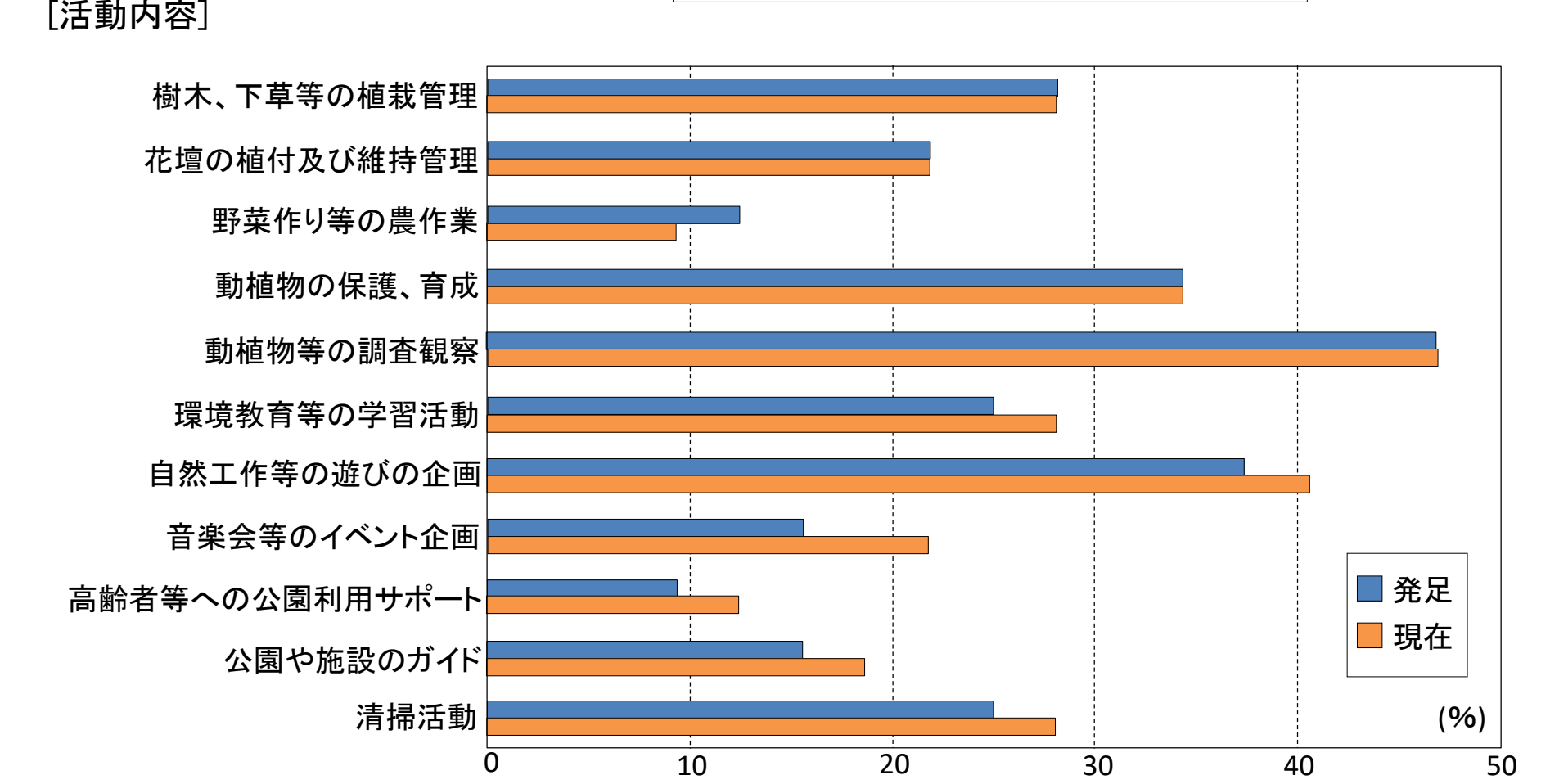
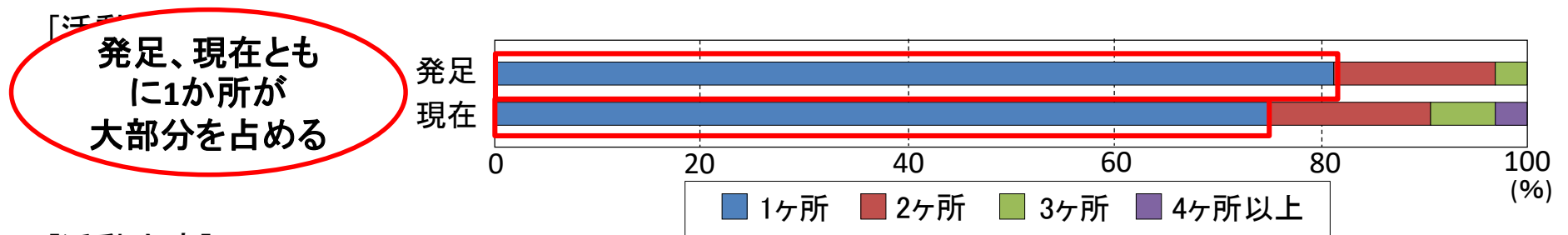


[活動内容]



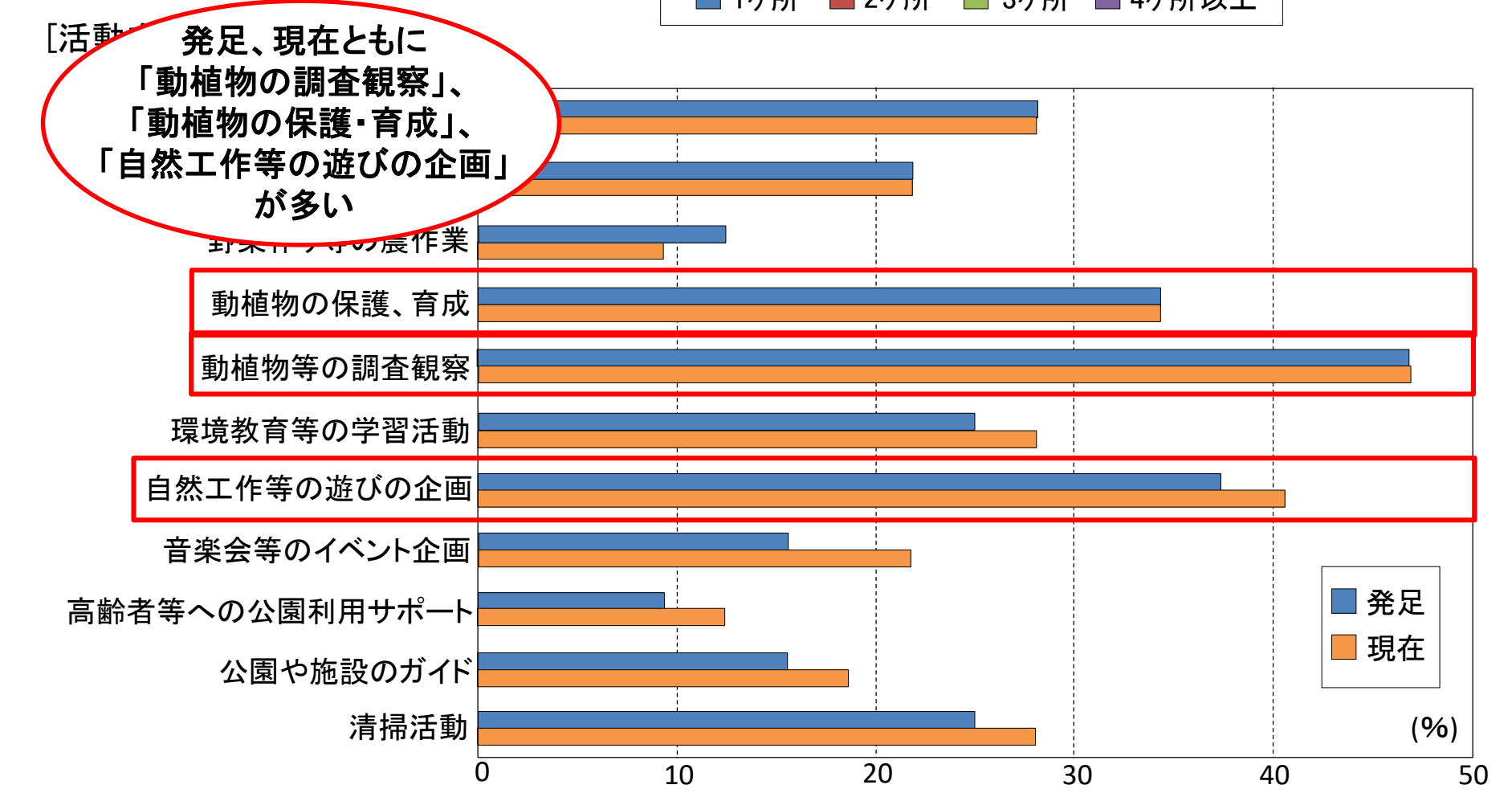
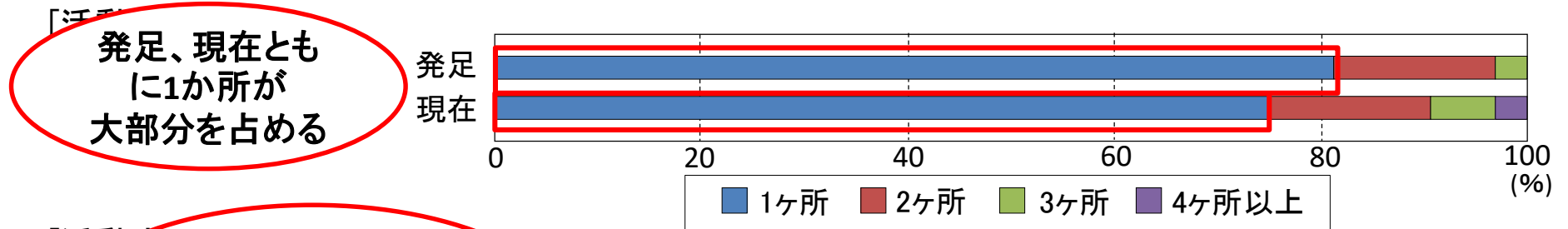
第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果②】

●活動内容(32団体の発足当時と現在の状況)



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果②】

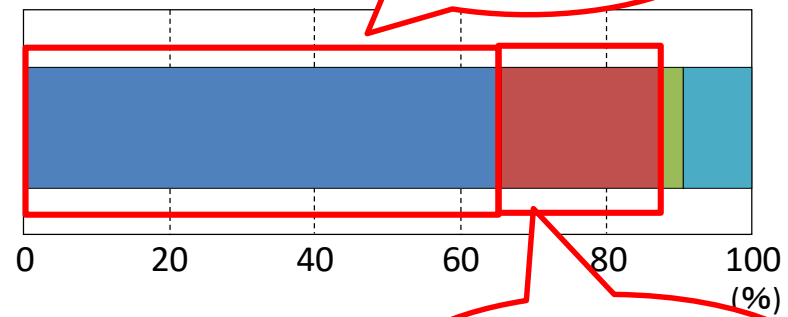
●活動内容(32団体の発足当時と現在の状況)



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体) (状況)

[会員資格]

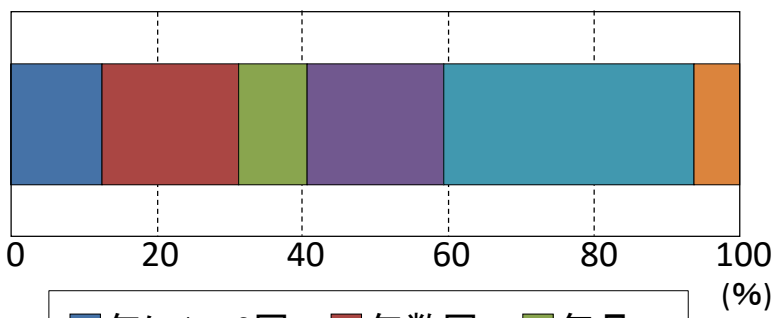


資格は問わないが
6割以上と多い

研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

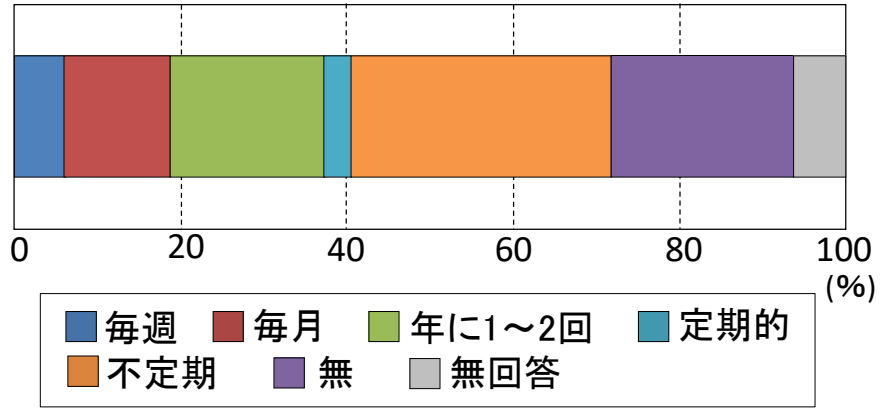
- 会員資格は問わない
- 研修や講座等の修了生
- 実績や経験による評価

[研修の有無と頻度]



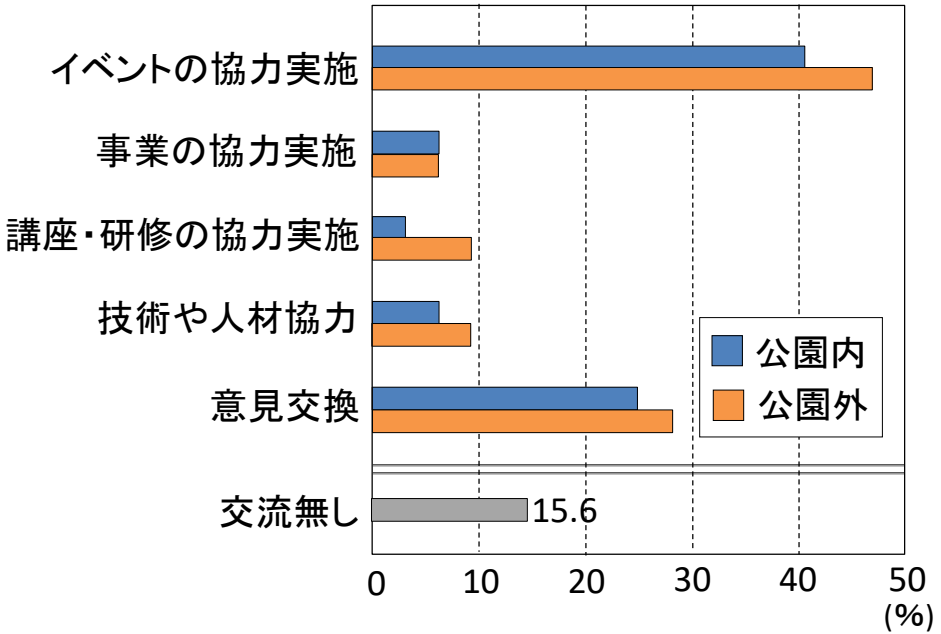
- 年に1~2回
- 年数回
- 毎月
- 不定期
- 研修なし
- 無回答

[指定管理者との連絡調整の有無と頻度]



- 毎週
- 毎月
- 年に1~2回
- 定期的
- 不定期
- 無
- 無回答

[他団体との交流]

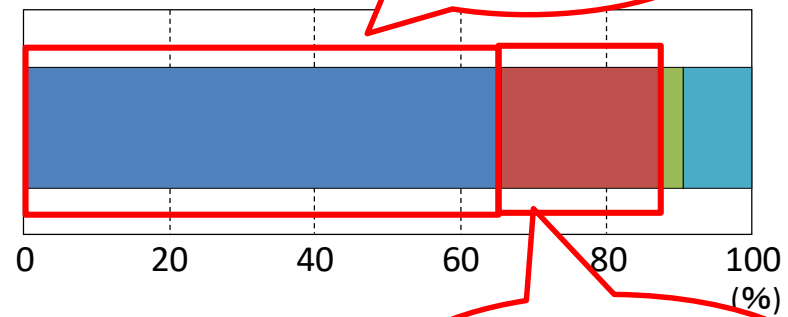


- 公園内
- 公園外

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体) (状況)

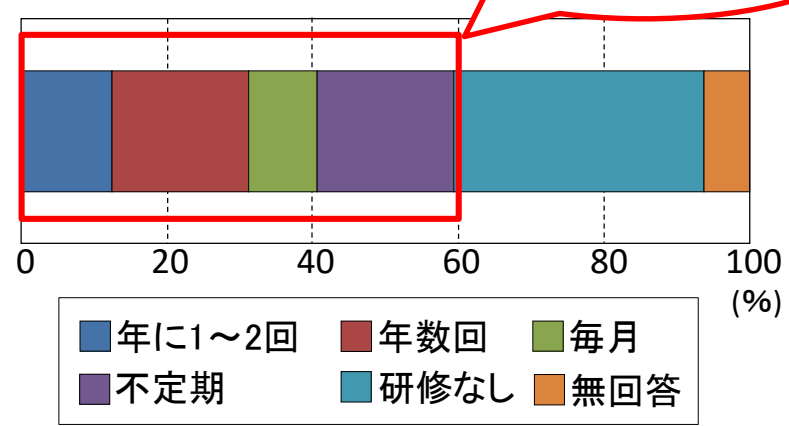
[会員資格]



資格は問わないが
6割以上と多い

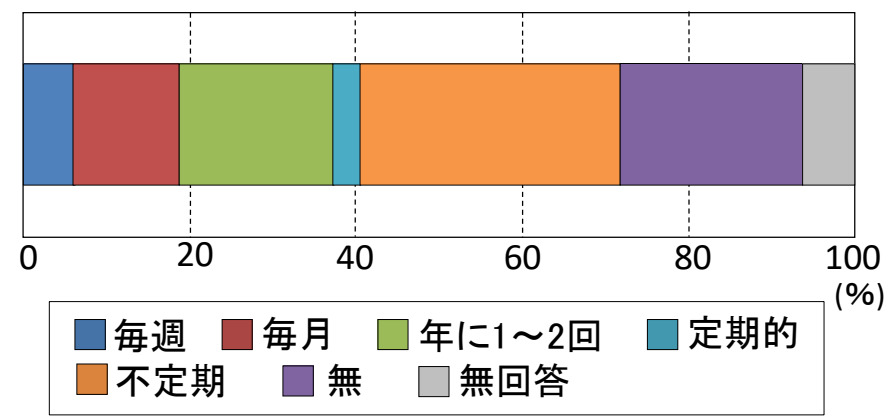
研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

[研修の有無と頻度]

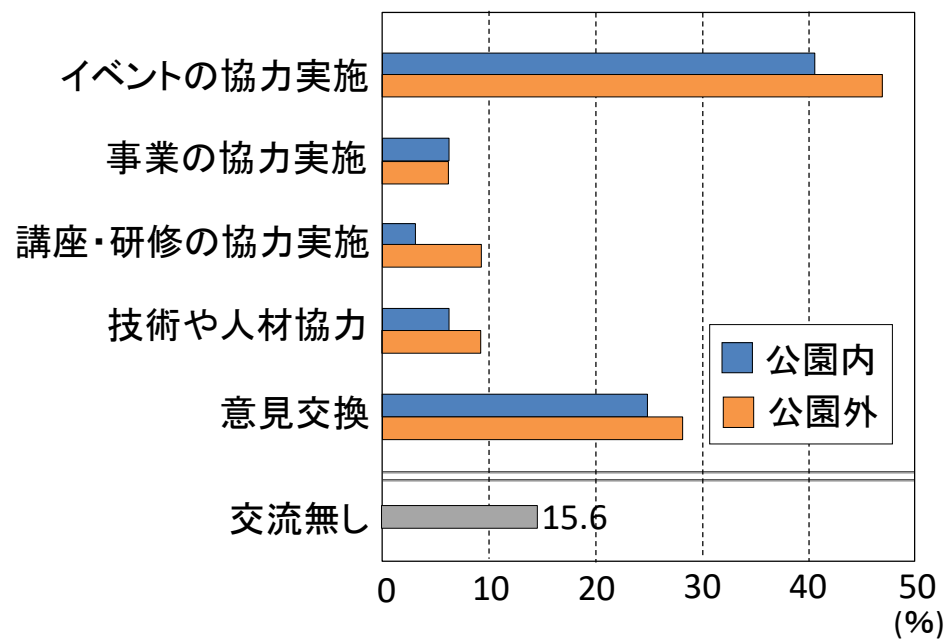


研修を実施している
団体は6割程度

[指定管理者との連絡調整の有無と頻度]



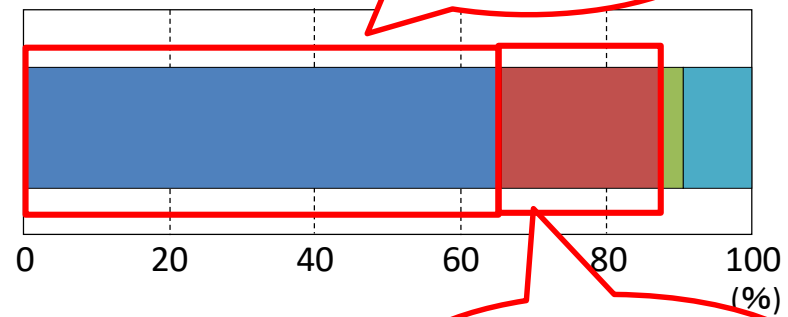
[他団体との交流]



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体) (状況)

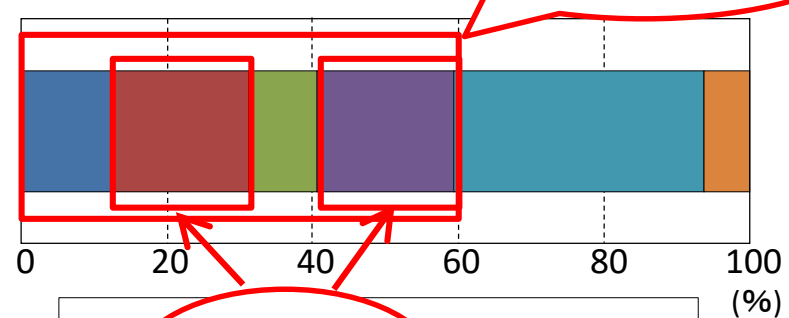
[会員資格]



資格は問わないが
6割以上と多い

研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

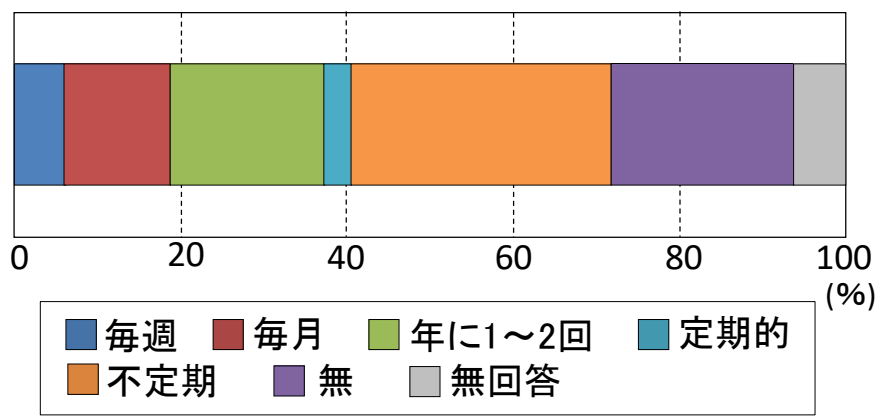
[研修の有無と頻度]



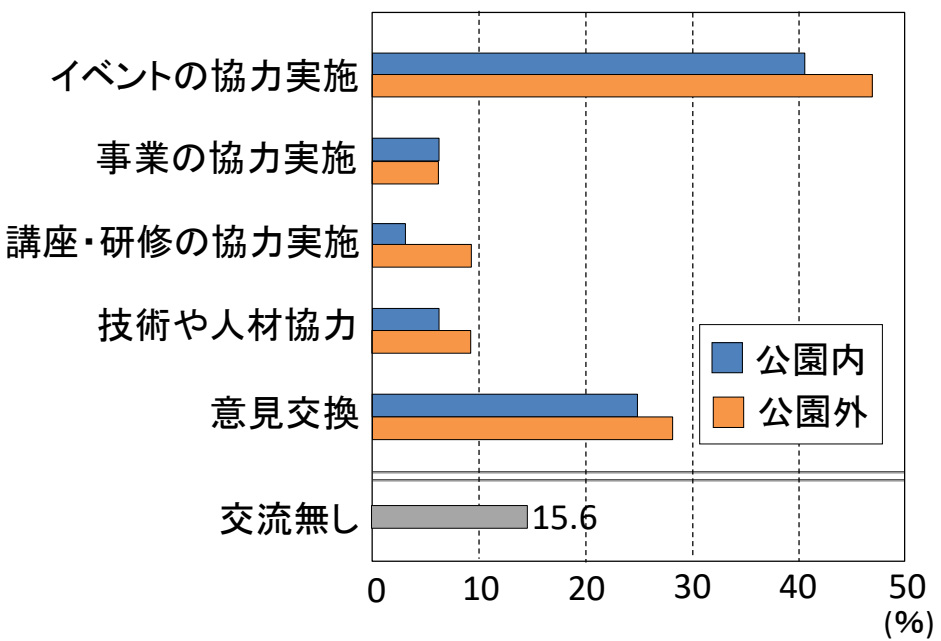
研修を実施している
団体は6割程度

年数回と
不定期が多い

[指定管理者との連絡調整の有無と頻度]



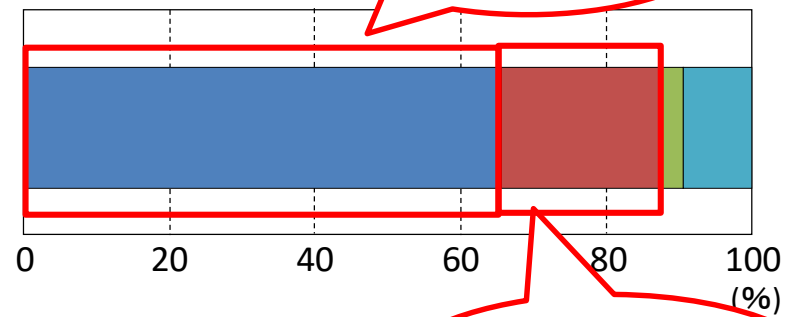
[他団体との交流]



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体)の状況

[会員資格]

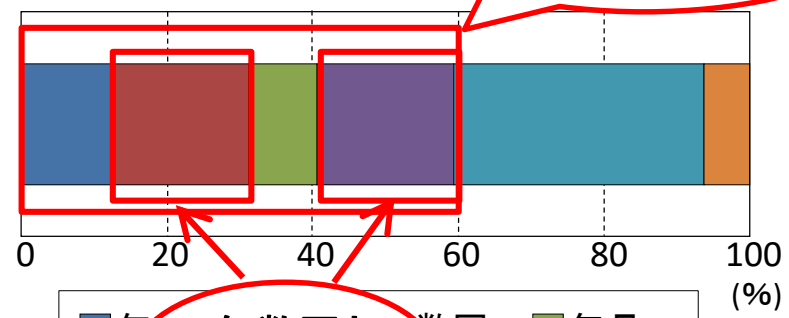


資格は問わないが
6割以上と多い

- 会員資格は問わない
- 研修や講座等の修了生
- 実績や経験による評価

研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

[研修の有無と頻度]

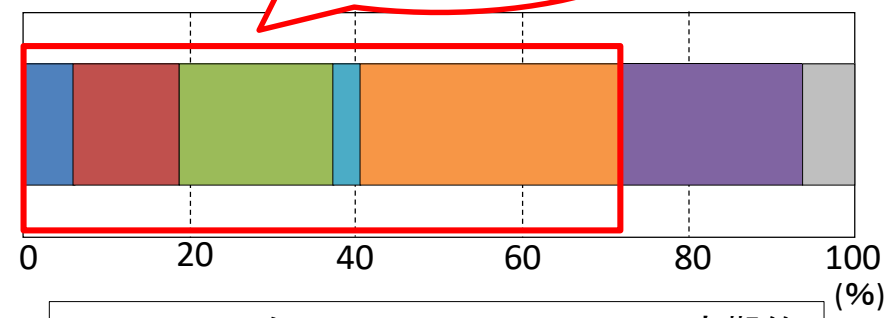


研修を実施している
団体は6割程度

年数回と
不定期が多い

- 年数回と数回
- 毎月
- 不定期が多い
- 頻なし
- 定期的
- 無回答

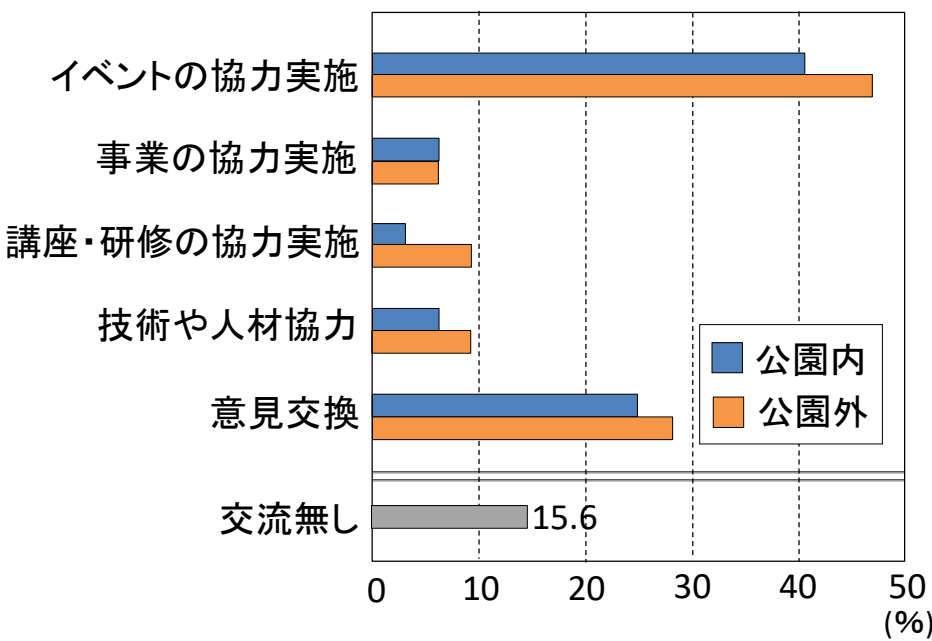
[指定管理者と連絡調整を行っている団体の頻度]



連絡調整を行っている
団体が6割以上

- 毎週
- 毎月
- 年に1~2回
- 定期的
- 不定期
- 無
- 無回答

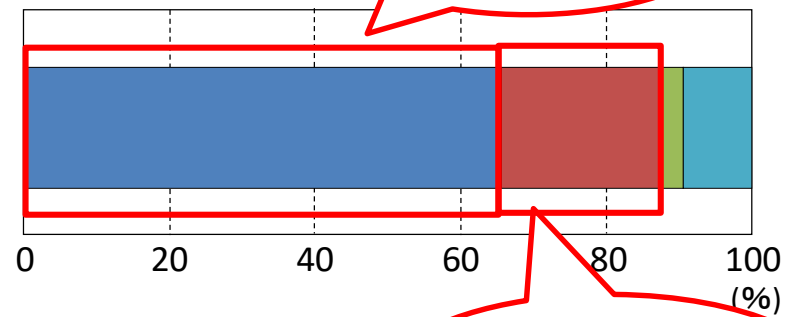
[他団体との交流]



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体)の状況

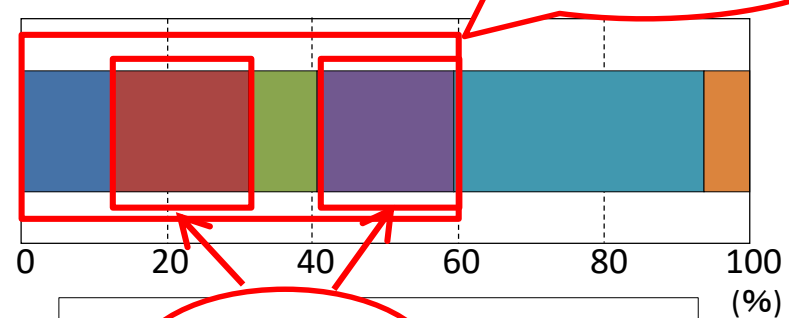
[会員資格]



資格は問わないが
6割以上と多い

研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

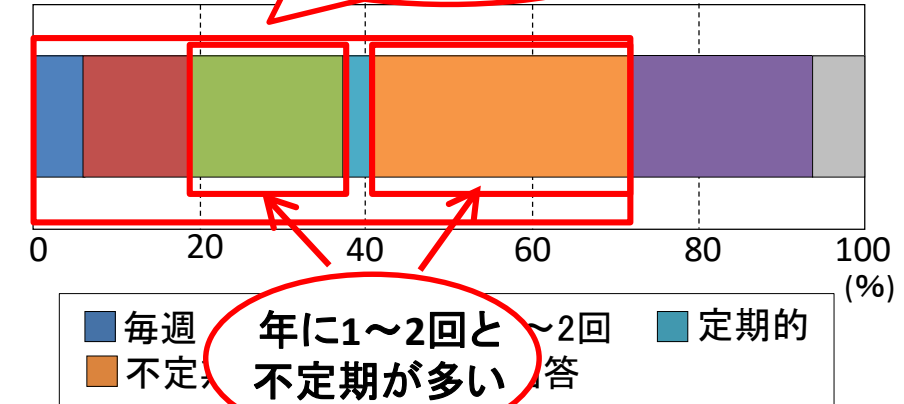
[研修の有無と頻度]



研修を実施している
団体は6割程度

年数回と
不定期が多い

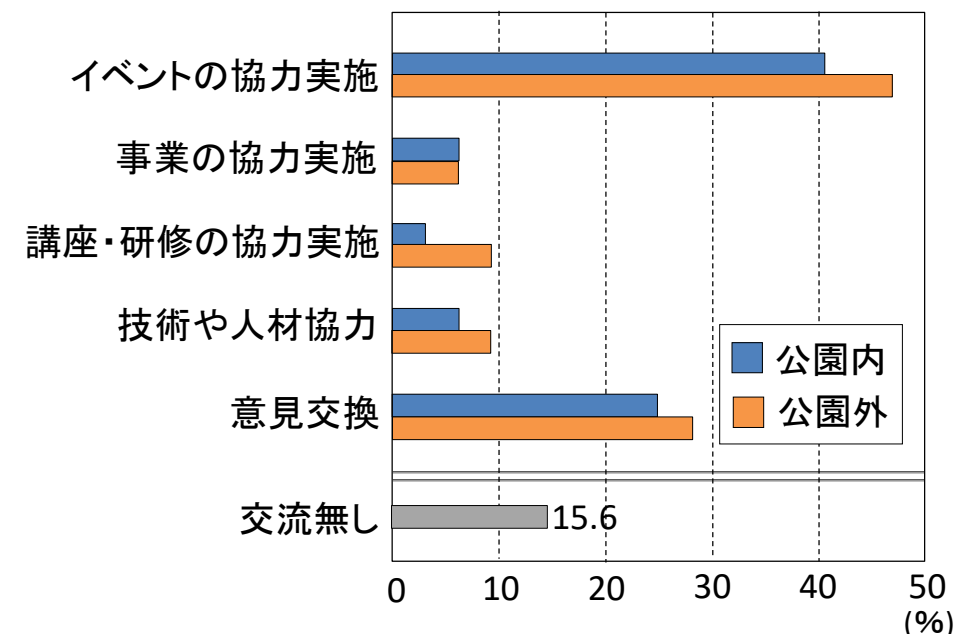
[指定管理者との連絡調整の頻度]



連絡調整を行っている
団体が6割以上

年に1~2回と
不定期が多い

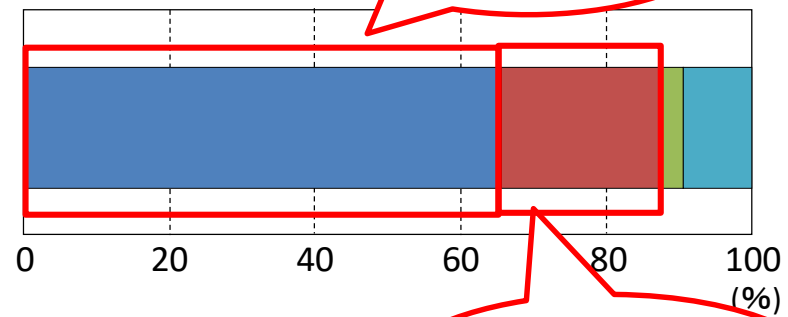
[他団体との交流]



第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体) (状況)

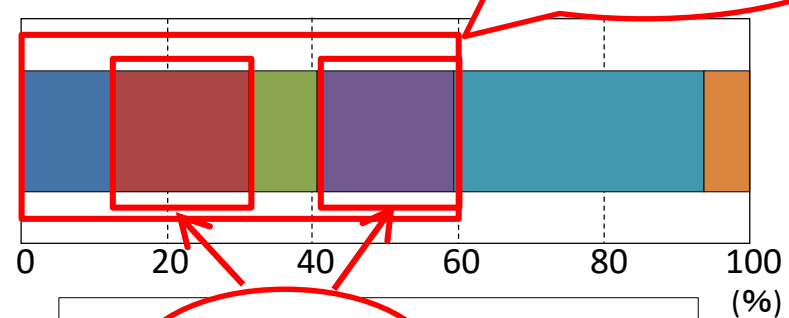
[会員資格]



資格は問わないが6割以上と多い

研修や講座等の修了生としているのも2割強

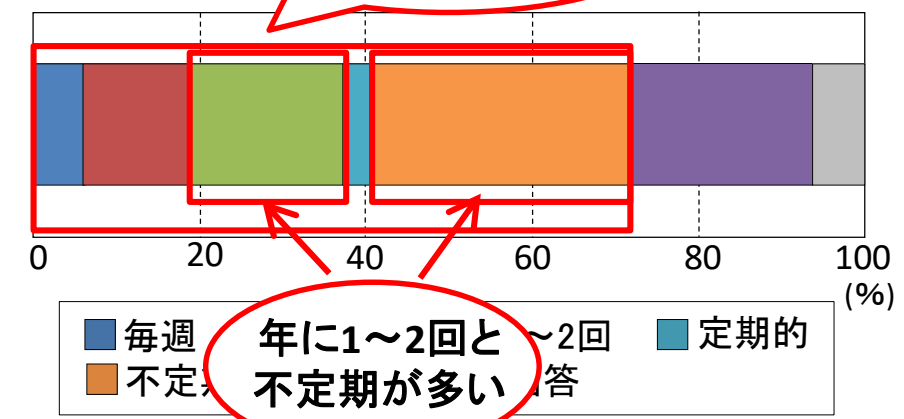
[研修の有無と頻度]



研修を実施している団体は6割程度

年数回と数回、不定期が多い

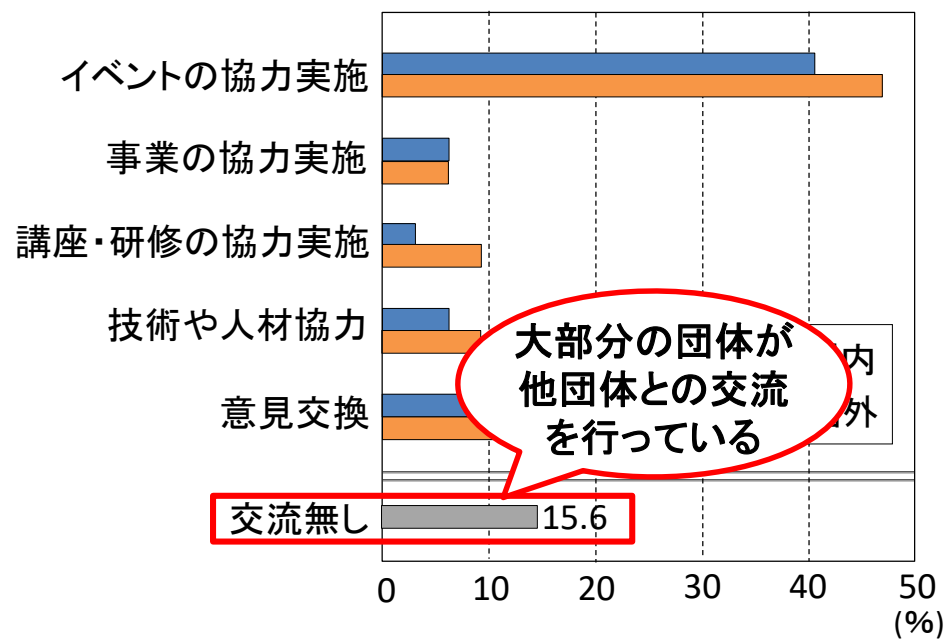
[指定管理者と連絡調整を行っている団体の頻度]



連絡調整を行っている団体が6割以上

年に1~2回と不定期が多い

[他団体との交流]



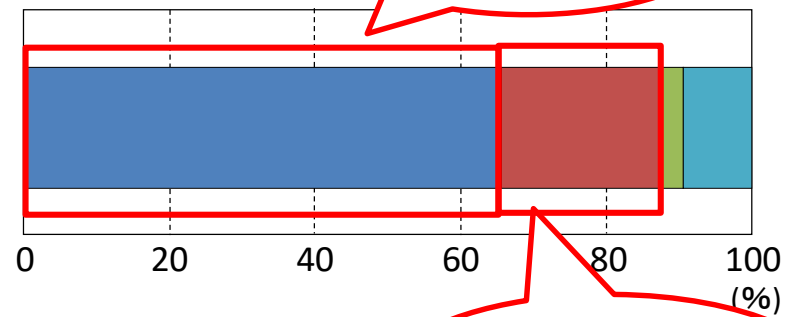
大部分の団体が他団体との交流を行っている

交流無し 15.6

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果③】

●サポート体制(327団体) (状況)

[会員資格]

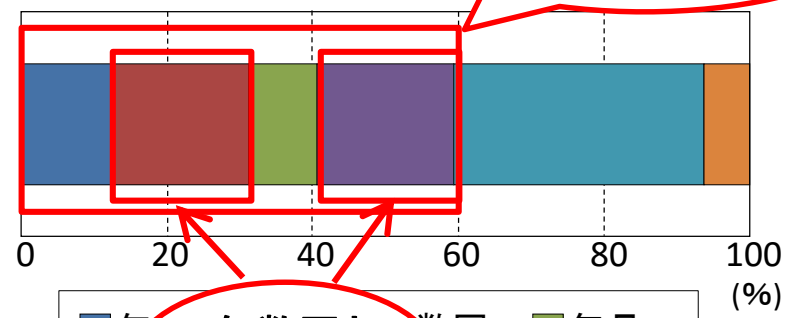


資格は問わないが
6割以上と多い

研修や講座等の
修了生としている
のも2割強

- 会員資格は問わない
- 研修や講座等の修了生
- 実績や経験による評価

[研修の有無と頻度]

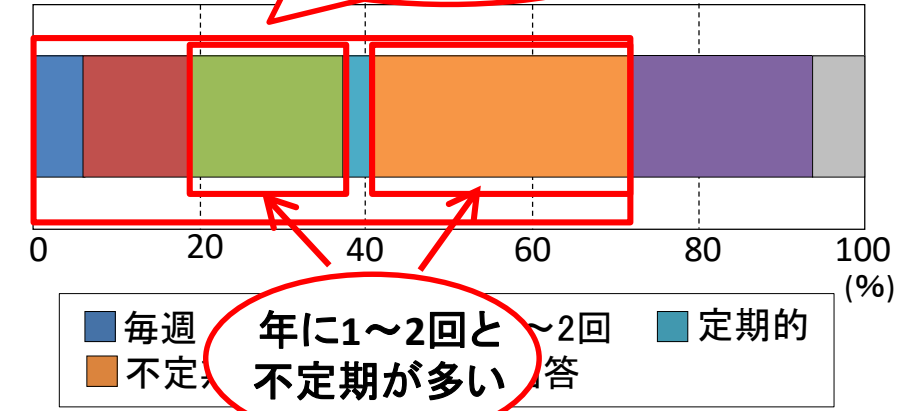


研修を実施している
団体は6割程度

年数回と数回
不定期が多い

- 年数回と数回
- 毎月
- 不定期が多い
- 研修を実施していない
- 無回答

[指定管理者と連絡調整を行っている団体の頻度]

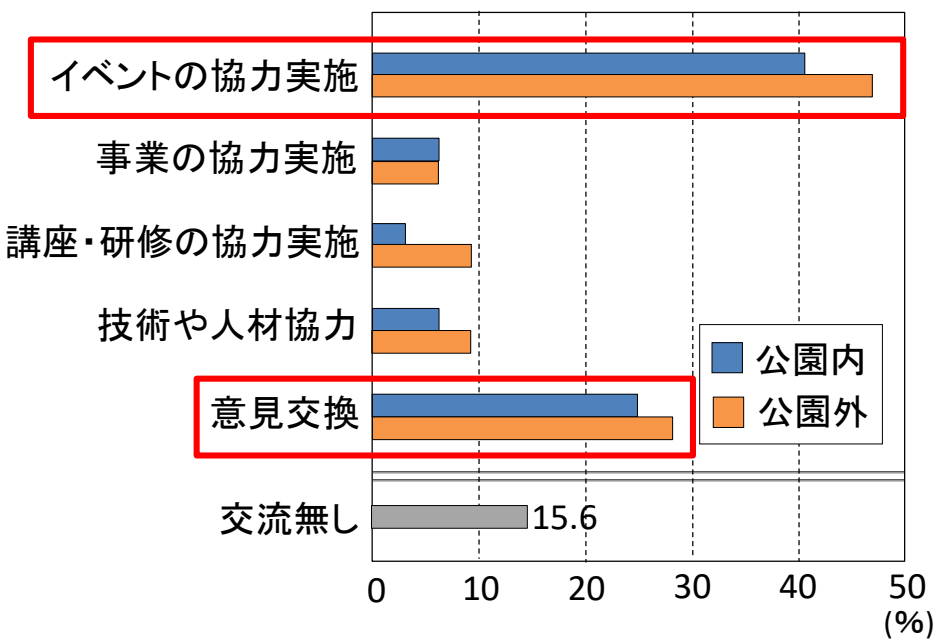


連絡調整を行っている
団体が6割以上

年に1~2回と
不定期が多い

- 毎週
- 不定期
- 年1~2回と2回以上
- 定期的

[他団体との交流]



イベントの協力実施

事業の協力実施

講座・研修の協力実施

技術や人材協力

意見交換

交流無し

- 公園内
- 公園外

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果④】

●団体の類型化とサポート体制との関係

衰退型:10団体 現状維持型:6団体 発展型:8団体

分類型	団体名	会員 数増 加率	継続 年数	新規会員の 会員資格	研修体制		指定管理者との連携		他団体との交流	
					有無	頻度	有無	合同会議 頻度	公園内交流	公園外交流
衰退型	服部緑地の自然を育てる会 〔服部緑地〕	0.39	9	資格問わない	有	不定期	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	服部緑地自然を楽しむ会 〔服部緑地〕	0.40	16	研修や講座等 の修了生	有	不定期	有	年に1,2回	—	—
	山田池公園 ヒーリングガーデナークラブ 〔山田池公園〕	0.70	8	資格問わない	有	年に 1～2回	有	年に1,2回	・イベントの協力実施 ・技術や人材協力	・意見交換 ・講座や研修の協力 実施
現状維持型	蜻蛉池公園夢の森づくり隊 〔蜻蛉池公園〕	0.90	12	資格問わない	有	年に 1～2回	有	—	—	・事業の協力実施
	うみべの森を育てる会 〔せんなん里海公園〕	1.00	10	資格問わない	無	—	有	不定期	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
発展型	ファミリー自然教室 〔服部緑地〕	1.37	10	研修や講座等 の修了生	有	毎月	有	不定期	・意見交換	・イベントの協力実施
	浜寺公園自然の会 〔浜寺公園〕	1.59	9	資格問わない	無	—	有	2か月 に1回	・意見交換 ・事業の協力実施	—
	浜寺公園 ヒーリングガーデナークラブ 〔浜寺公園〕	1.76	10	研修や講座等 の修了生	有	年数回	有	2か月 に1回	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果④】

●団体の類型化とサポート体制との関係

衰退型:10団体 現状維持型:6団体 発展型:8団体

分類型	団体名	会員 数増 加率	継続 年数	新規会員の 会員資格	研修体制		指定管理者との連携		他団体との交流	
					有無	頻度	有無	合同会議 頻度	公園内交流	公園外交流
衰退型	服部緑地の自然を育てる会 [服部緑地]	0.39	9	資格問わない	有	不定期	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	服部緑地自然を楽しむ会 [服部緑地]	0.40	16	研修や講座等 の修了生	有	不定期	有	年に1,2回	—	—
	山田池公園 ヒーリングガーデナークラブ [山田池公園]	0.70	8	資格問わない	有	年1回	有	年1回	・イベントの協力実施 ・意見交換や人材協力	・意見交換 ・講座や研修の協力 実施
現状維持型	蜻蛉池公園夢の森づくり隊 [蜻蛉池公園]	0.90	12	資格問わない	有	—	有	不定期	—	・事業の協力実施
	うみべの森を育てる会 [せんなん里海公園]	1.00	10	資格問わない	無	—	有	不定期	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
発展型	ファミリー自然教室 [服部緑地]	1.37	10	研修や講座等 の修了生	有	毎月	有	不定期	・意見交換	・イベントの協力実施
	浜寺公園自然の会 [浜寺公園]	1.59	9	資格問わない	無	—	有	2か月に1回	・意見交換 ・事業の協力実施	—
	浜寺公園 ヒーリングガーデナークラブ [浜寺公園]	1.76	10	研修や講座等 の修了生	有	年数回	有	2か月に1回	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施

・指定管理者との連携をしている
・合同会議は頻繁にしていない

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果④】

●団体の類型化とサポート体制との関係

衰退型:10団体 現状維持型:6団体 発展型:8団体

分類型	団体名	会員 数増 加率	継続 年数	新規会員の 会員資格	研修体制		指定管理者との連携		他団体との交流	
					有無	頻度	有無	合同会議 頻度	公園内交流	公園外交流
衰退型	服部緑地の自然を育てる会 [服部緑地]	0.39	9	資格問わない	有	不定期	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	服部緑地自然を楽しむ会 [服部緑地]	0.40	16	研修や講座等 の修了生	有	不定期	有	年に1,2回	—	—
	山田池公園 ヒーリングガーデナークラブ [山田池公園]	0.70	8	資格問わない	有	年に 1～2回	有	年に1,2回	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
現状維持型	蜻蛉池公園夢の森づくり隊 [蜻蛉池公園]	0.90	12	資格問わない	有	年に 1～2回	有	—	「イベントの協力実施」、 「意見交換」が 主に行われている	
	うみべの森を育てる会 [せんなん里海公園]	1.00	10	資格問わない	無	—	有	不定期	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
発展型	ファミリー自然教室 [服部緑地]	1.37	10	研修や講座等 の修了生	有	毎月	有	不定期	・意見交換	・イベントの協力実施
	浜寺公園自然の会 [浜寺公園]	1.59	9	資格問わない	無	—	有	2か月 に1回	・意見交換 ・事業の協力実施	—
	浜寺公園 ヒーリングガーデナークラブ [浜寺公園]	1.76	10	研修や講座等 の修了生	有	年数回	有	2か月 に1回	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施	・イベントの協力実施 ・意見交換 ・講座や研修の協力 実施

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果④】

●団体の類型化とサポート体制との関係

衰退型:10団体 現状維持型:6団体 発展型:8団体

分類型	団体名	会員 数増 加率	継続 年数	新規会員の 会員資格	研修体制		指定管理者との連携		他団体との交流	
					有無	頻度	有無	合同会議 頻度	公園内交流	公園外交流
衰退型	服部緑地の自然を育てる会 [服部緑地]	0.39	9	資格問わない	有	不定期	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	服部緑地自然を楽しむ会 [服部緑地]	0.40	16	研修や講座等 の修了生	有	不定期	有	年に1,2回	—	—
	山田池公園 ヒーリングガーデナークラブ [山田池公園]	0.70	8	資格問わない	有	年に 1～2回	有	年に1,2回	・イベントの協力実施 ・技術や人材協力	・意見交換 ・講座や研修の協力 実施
現状維持型	蜻蛉池公園夢の森づくり隊 [蜻蛉池公園]	0.90	12	資格問わない	有	年に 1～2回	有	—	—	・事業の協力実施
	うみべの森を育てる会 [せんなん里海公園]	1.00	10	資格問わない	無	—	有	不定期	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
発展型	ファミリー自然教室 [服部緑地]	1.37	10	研修や講座等 の修了生	有	毎月				・イベントの協力実施
	浜寺公園自然の会 [浜寺公園]	1.59	9	資格問わない	無					
	浜寺公園 ヒーリングガーデナークラブ [浜寺公園]	1.76	10	研修や講座等 の修了生	有	年数回				・講座や研修の協力 実施

「会員の資格」
●研修や講座等を修了することを
義務付けている
→知識や技術を入会する前から習得
→実直に活動できる人を確保

第2章 市民団体活動の継続実態の把握 【調査結果④】

●団体の類型化とサポート体制との関係

衰退型:10団体 現状維持型:6団体 発展型:8団体

分類型	団体名	会員 数増 加率	継続 年数	新規会員の 会員資格	研修体制		指定管理者との連携		他団体との交流	
					有無	頻度	有無	合同会議 頻度	公園内交流	公園外交流
衰退型	服部緑地の自然を育てる会 [服部緑地]	0.39	9	資格問わない	有	不定期	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	服部緑地自然を楽しむ会 [服部緑地]	0.40	16	研修や講座等 の修了生	有	不定期	有	年に1,2回	—	—
	山田池公園 ヒーリングガーデナークラブ [山田池公園]	0.70	8	資格問わない	有	年に 1～2回	有	年に1,2回	・イベントの協力実施 ・技術や人材協力	・意見交換 ・講座や研修の協力 実施
現状維持型	蜻蛉池公園夢の森づくり隊 [蜻蛉池公園]	0.90	12	資格問わない	有	年に 1～2回	有	—	—	・事業の協力実施
	うみべの森を育てる会 [せんなん里海公園]	1.00	10	資格問わない	無	—	有	不定期	・イベントの協力実施	・イベントの協力実施
発展型	ファミリー自然教室 [服部緑地]	1.37	10	研修や講座等 の修了生	有	毎月	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	浜寺公園自然の会 [浜寺公園]	1.59	9	資格問わない	無	—	有	不定期	—	・イベントの協力実施
	浜寺公園 ヒーリングガーデナークラブ [浜寺公園]	1.76	10	研修や講座等 の修了生	有	年数回	有	年に1回	・イベントの協力実施	・講座や研修の協力 実施

「研修」
●頻繁に研修を実施
→活動内容も発足当初より充実
→会員の士気も高まる
→技術継承もできる

第3章 市民団体活動の継続要因の把握 【調査方法】

●調査方法

[対象団体]

《衰退型》

- ・服部緑地自然を楽しむ会
- ・服部緑地の自然を育てる会
- ・山田池公園ヒーリングガーデナークラブ

《発展型》

- ・浜寺公園自然の会
- ・浜寺公園ヒーリングガーデナークラブ
- ・ファミリー自然教室

[ヒアリング調査]

実施時期：平成24年11月下旬～12月中旬

調査：会の代表者への直接面談方式

[調査項目]

- ①活動内容：頻度・内容・場所
- ②財政：会費・固定収入・助成金
- ③運営形態：団体規約・会員数・役員構成
- ④研修体制：内部研修・外部研修
- ⑤指定管理者との連携：物的支援・人的支援・合同会議
- ⑥他団体との交流：共同開催・人的交流・合同イベント
- ⑦新規会員の勧誘：頻度・媒体と対象

[解析方法]

- 団体の記録を詳細に整理し、発足当初から変化したものと変化していないもの に分類
- 変化したものは時期ときっかけを把握



活動の継続並びに発展要因を探った。

第3章 市民団体活動の継続要因の把握【衰退型】

●衰退型の対象団体の紹介

団体名	発足経緯	設立年	活動内容	活動場所
服部緑地 自然を楽しむ会	・大阪府自然環境保全協会で開催している「自然観察インストラクター養成講座」修了生発足。	1996年	・自然観察会 ・調査・保全活動 ・受託事業	【服部緑地】 ・園内各所 ・ボランティアセンター会議室 ・レストハウス2階の展示スペース
服部緑地の 自然を育てる会	・大阪府公園課主催の環境ふれあいワークショップ「生きものとふれあえる服部緑地」に参加したうちの有志者が発足。	2003年	・調査、計画、提言活動 ・保全・復元作業 ・イベント共催や協力 ・学校等との連携、支援	【服部緑地】 ・園内の草地や樹林地、池等 ・ボランティアセンター会議室、 ・レストハウスの2階展示スペース
山田池公園 ヒーリングガーデナー クラブ	・大阪府の公園事業でヒーリングガーデナー養成講座が第1～5期まで開設。 ・当団体は第4期の養成講座修了生がスタッフとなり発足。	2004年	・高齢者・障害者等の野外学習の支援 ・イベントの支援 ・社会福祉施設との連携・支援	【山田池公園】 ・花菖蒲園、花木園、もみじ谷等園内各所 ・パークセンター会議室

●衰退型の現状

[服部緑地自然を楽しむ会]

16年と長く活動を継続しているが、6年程前から大阪府自然環境保全協会の人手不足の影響で本来当団体に入るはずの講座修了生が入会しなくなっている。

[服部緑地の自然を育てる会、山田池公園ヒーリングガーデナークラブ]

公園外の合同イベントや講座、地元の広報紙や市民団体ネットワーク等で広報活動をして、会員を募集しているものの新規会員の加入にはつながっていない。

●衰退型の現状

[服部緑地自然を楽しむ会]

16年と長く活動を継続しているが、6年程前から大阪府自然環境保全協会の人手不足の影響で本来当団体に入るはずの講座修了生が入会しなくなっている。

[服部緑地の自然を育てる会、山田池公園ヒーリングガーデナークラブ]

公園外の合同イベントや講座、地元の広報紙や市民団体ネットワーク等で広報活動をして、会員を募集しているものの新規会員の加入にはつながっていない。



●衰退型要因の解明

3団体全てにおいて、新規会員の入会が進まず会員の高齢化に伴い会員数が減少し、活動の担い手が不足していることが衰退の主たる要因であることが分かった。

第3章 市民団体活動の継続要因の把握 【発展型】

●発展型の対象団体の紹介

団体名	発足経緯	設立年	活動内容	活動場所
浜寺公園自然の会	・当団体代表が公園の未利用地の活用としてバッタの広場を提案したのが始まり。 ・大阪府自然環境保全協会やシニア自然大学校の人々を会員として募集し発足。	2003年	・自然復元作業 ・復元のための調査 ・環境学習 ・イベントの実施	【浜寺公園】 ・バラ庭園、バッタの原っぱ、高師浜海岸等 ・管理事務所、レストハウス、交通遊園の会議室等
浜寺公園 ヒーリングガーデナー クラブ	・大阪府の公園事業のヒーリングガーデナー養成講座第3期の修了生が発足。	2002年	・高齢者・障害者の公園案内や野外学習の支援 ・イベントの実施 ・社会福祉施設との連携・支援協力	【浜寺公園】 ・バラ庭園等園内各所 ・管理事務所、レストハウス、交通遊園の会議室等
ファミリー自然教室	・NPO法人シニア自然大学校の講座修了生が服部緑地管理者の協力を得て発足。	2002年	・自然観察会 ・自然工作教室	【服部緑地】 ・園内各所 ・ボランティアセンターの会議室 ・レストハウス2階展示スペース

第3章 市民団体活動の継続要因の把握 【調査結果②】

【発展型の活動内容の分析】

団体の活動を内部要因と外部要因から把握

●例：浜寺公園自然の会 【内部要因】

	発足当初から 変化していないもの	発足当初から変化しているもの	
		内容と時期	きっかけ
活動 内容	頻度：月に3～5回程度 内容：バッタの原っぱ等の 自然復元、保全、活用 (草刈や落ち葉かき、生物調 査、公園利用者へのバッタの 原っぱ開放)	イ ベ ン ト 開 催 [2004～2008年頃] 【バッタまつりや自然観察会等】 頻度：月に1回程度 対象：会員	・公園来場者へのバッタの原っ ぱのPRのため ・親子に人気なものであるため
		[2009年頃～現在] 同上のイベントを一般来場者対象にも 開催。	会員を増やすため。
財政 (会費)	一般会員：1000円	[2004年頃～現在] 家族会員の会費(300円)を追加 (子どものボランティア保険代として徴収)	バッタまつり以来、親子の入会 者が増加したため。
		[2012年～] メーリングリスト会員(無料)を追加	・自然観察会を無料で実施 ・観察会のための参加者のために 設置。

第3章 市民団体活動の継続要因の把握 【調査結果③】

●例：浜寺公園自然の会 【外部要因】

		発足当初から変化していないもの	発足当初から変化したもの				
			内容と時期			きっかけ	
財政 (助成金)		—	[2005年頃～現在] 浜寺昭和校区福祉委員会の助成金 (パンフレット・ポスター作成費、通信費等)			・会員が当自治会に所属 ・自治会会長も活動を理解、協力	
指定 管理者 との 連携	物的 支援	活動場所:管理事務所等での会議室を無償貸出 作業道具:のこぎり、鎌等の無償貸出 その他の支援:印刷費や材料費、その他消耗品費の支給	—			—	
	人的 支援	広報活動の協力:チラシ掲示や公園協会のHPに団体情報掲載 作業協力:バッタの原っぱの刈草処分、草刈(機械刈)	浜寺公園広報紙に団体紹介を掲載。 [2010年頃～現在]			指定管理者が公園利用活性化とPRのために広報紙発行	
	合同 会議	年1回の覚書締結団体会議	奇数月に他のボランティア団体を含めた合同会議 [2010年頃～現在]			・指定管理者が積極的に公園活性化へ力を入れるようになった ・イベントの連携も順調に進めるようにするためである。	
公園 内外の 他団体 との 交流	共同 開催	—	[2006年頃～現在] 浜寺昭和校区自治会とのイベント 「バッタまつり」			・会員が当自治会に所属。 ・当自治会会長も活動を理解し協力	
			公園 と 園 内 の 共 催 団体	指定 管理者	[2012年～] 自然観察会を実施	2011年に指定管理者との共催でイベントを初めて実施し、多くの人が参加し、大きな成果があったため。	
				他団体	[2010年] 自然かんさつガイドブックを発行	・公園協会、浜寺公園管理事務所の出版物として発行が決定	
					[2010～2011年] 公園樹木名札設置 [2012年] 浜寺公園ウィンターフェスタ	・頻繁に合同会議が実施 ・指定管理者や団体間との連携がしやすい	
	合同 イベ ント	[参加しているイベント] ・浜寺公園のイベント(年4回程度) ・かんさい自然フェスタ(年1回) ・大阪湾フォーラム		[2007年] 大阪バードフェスティバルに参加			・蓄積した調査データの発表
				[2010年] 市民調査全国大会に参加			・活動PRや他団体との交流
大阪湾生き物一斉調査に参加 [2007年頃～現在]				・大阪湾見守りネットに加入			

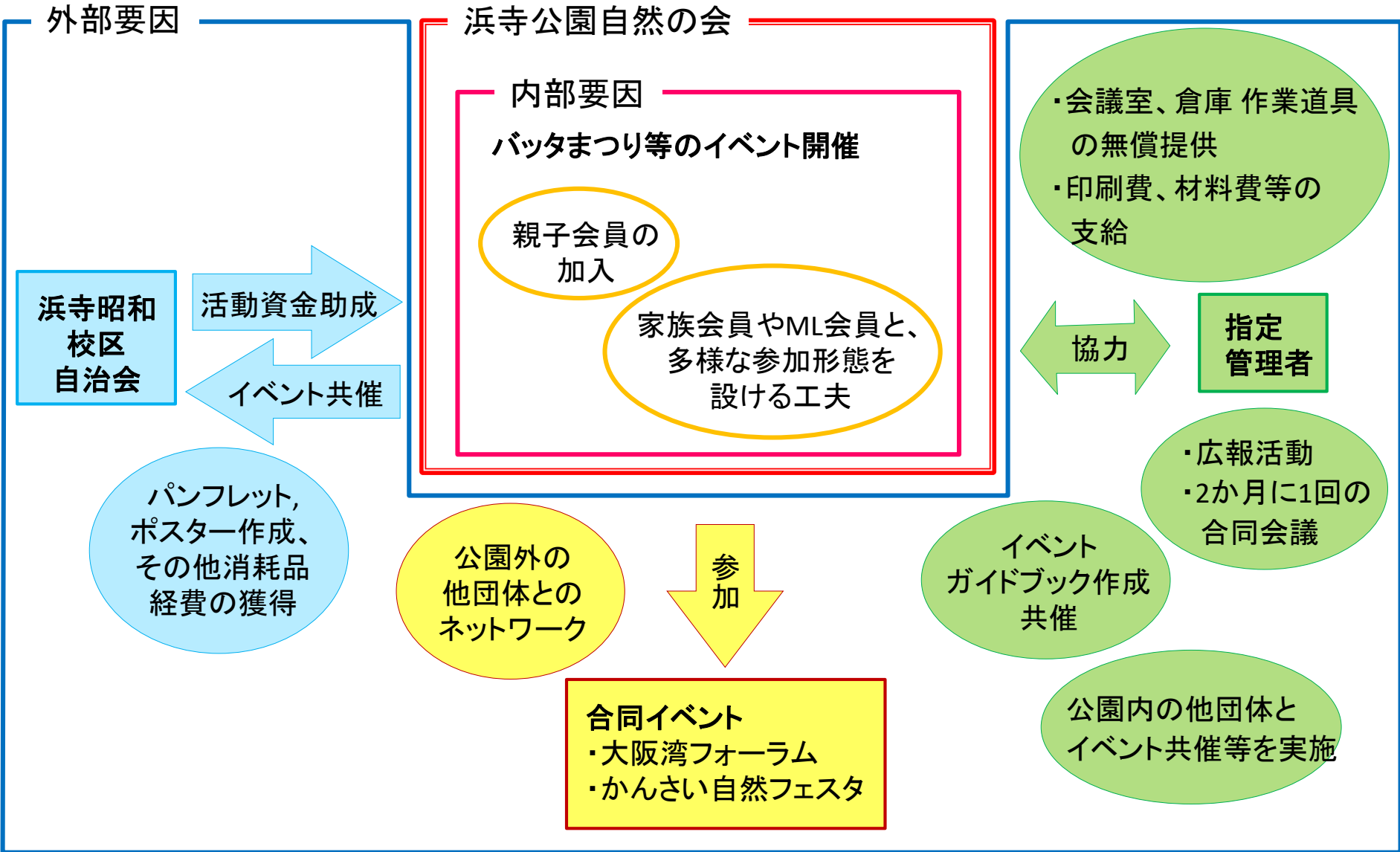
第3章 市民団体活動の継続要因の把握 【調査結果③】

●例：浜寺公園自然の会【外部要因】

		発足当初から 変化していないもの	発足当初から変化しているもの			
			内容と時期		きっかけ	
財政	助成金	—	[2005年頃～現在] 浜寺昭和校区福祉委員会の助成金 (パンフレット・ポスター作成費、通信費等)		・会員が当自治会に所属 ・自治会会長も活動を理解、協力	
指定管理者との連携	物的支援	場所:管理事務所等での会議室を無償貸出 道具:のこぎり、鎌等の無償貸出 他の支援:印刷費や材料費、その他消耗品費給	—		—	
	人的支援	活動の協力:チラシ掲示や公園協会のHPに情報掲載 協力:バッタの原っぱの刈草処分、草刈(機械)	浜寺公園広報紙に団体紹介を掲載。 [2010年頃～現在]		指定管理者が公園利用活性化とPRのために広報紙発行	
	合同会議	1の覚書締結団体会議	奇数月に他のボランティア団体を含めた合同会議 [2010年頃～現在]		・指定管理者が積極的に公園活性化へ力を入れるようになった ・イベントの連携も順調に進めるようにするためである。	
公園内外の他団体との交流	共同開催	—	[2006年頃～現在] 浜寺昭和校区自治会とのイベント「バッタまつり」		・会員が当自治会に所属。 ・当自治会会長も活動を理解し協力	
			公園内の共同開催団体	指定管理者	[2012年～] 自然観察会を実施	2011年に指定管理者との共催でイベントを初めて実施し、多くの人が参加し、大きな成果があったため。
					[2010年] 自然かんさつガイドブックを発行	・公園協会、浜寺公園管理事務所の出版物として発行が決定
				他団体	[2010～2011年] 公園樹木名札設置	・頻繁に合同会議が実施
	[2012年] 浜寺公園ウィンターフェスタ	・指定管理者や団体間との連携がしやすい				
	合同イベント	[2007年] 浜寺公園のイベント(年4回程度) みらい自然フェスタ(年1回) 大阪湾フォーラム	[2007年] 大阪バードフェスティバルに参加		・蓄積した調査データの発表	
			[2010年] 市民調査全国大会に参加		・活動PRや他団体との交流	
大阪湾生き物一斉調査に参加 [2007年頃～現在]			・大阪湾見守りネットに加入			

第3章 市民団体活動の継続要因の把握【調査結果④】

●浜寺公園自然の会 【継続要因】



外部要因

浜寺公園自然の会

内部要因

イベント開催

親子会員の加入

家族会員やML会員と、多様な参加形態を設ける工夫

浜寺昭和校区自治会

活動資金助成

イベント共催

パンフレット、ポスター作成、その他消耗品経費の獲得

公園外、他団体とのネットワーク

参加

合同イベント
・大阪湾フォーラム
・かんさい自然フェスタ

・会議室、倉庫 作業道具の無償提供
・印刷費、材料費等の支給

協力

指定管理者

・広報活動
・2か月に1回の合同会議

イベントガイドブック作成共催

公園内の他団体とイベント共催等を実施

第3章 市民団体活動の継続要因の把握【調査結果⑤】

●浜寺公園ヒーリングガーデナークラブ【継続要因】

外部要因

会員の研修
交通費
負担軽減

活動資金助成

イベント参加

堺市社会
福祉協議会

パソコン等の
周辺機器、
車椅子購入
経費の獲得

浜寺公園HGC

内部要因

HG養成講座
(2年に1回)

新規会員の
加入
(会員の研修)

研修活動

園芸や福祉に
関する知識・技術
の獲得

分科会

会員同士
の交流

研修活動
意見交換
交流

協力

4HGC

- ・服部緑地HGC
- ・大泉緑地HGC
- ・山田池公園HGC
- ・久宝寺緑地HGC

- ・会議室、倉庫、
の無償提供
- ・印刷費、材料費
等の支給

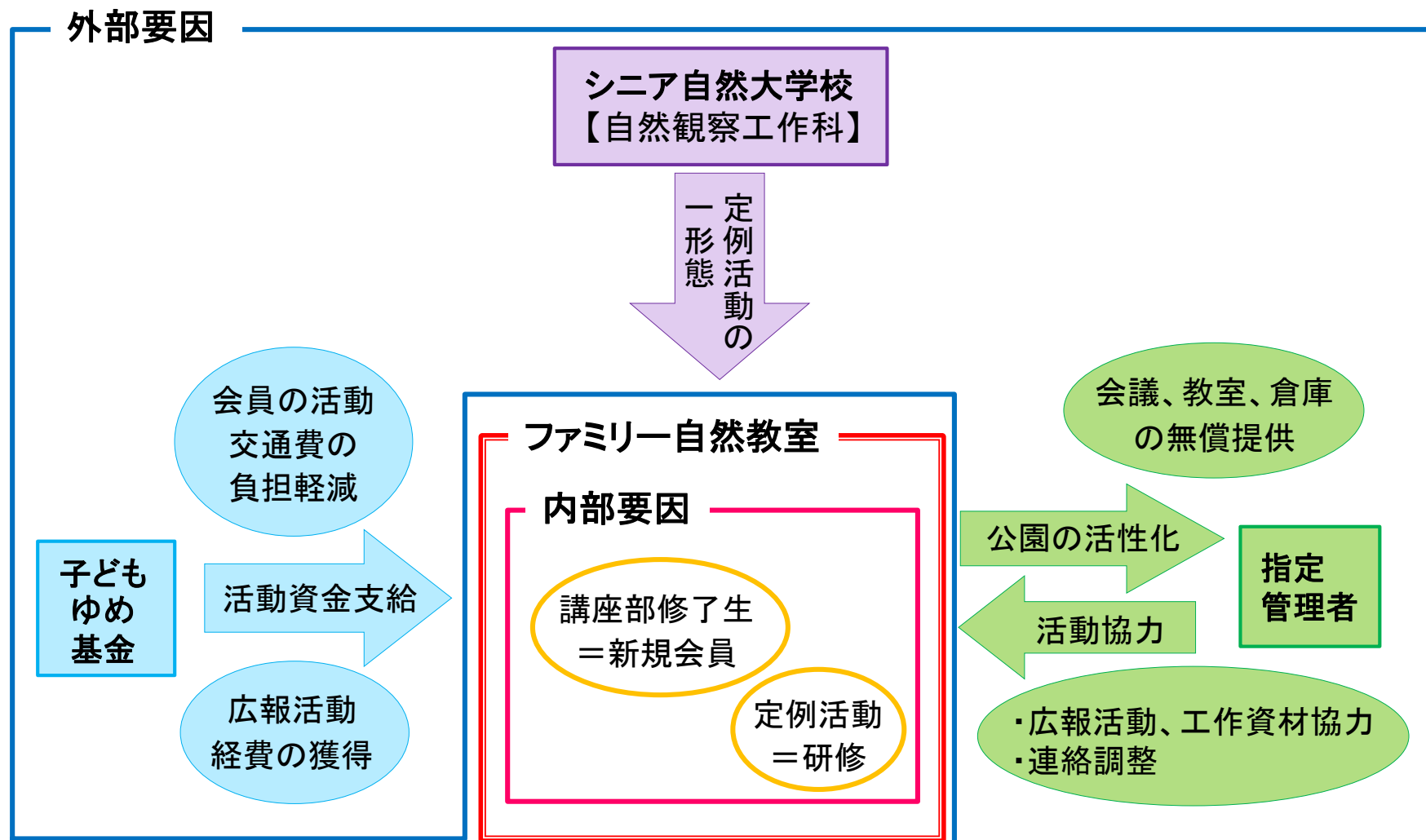
協力

指定
管理者

- ・広報活動
- ・2か月に1回の
合同会議
→他団体との連携
〔研修やイベントを
共同で実施

第3章 市民団体活動の継続要因の把握【調査結果⑥】

会員は、シニア自然大学校の研究部の一つである「自然観察工作科」の会員でもある。



第4章 広域公園における市民団体活動の継続性を高めるための方策

【市民団体活動の継続要因】

《内部要因》

- 新規会員の入会のための講座やイベントを積極的に実施
→→活動の担い手を獲得
- 分科会での会員交流促進や多様な参加形態を設ける工夫

《外部要因》

- 安定的な助成金を受けていること
→→広報活動費や会員の活動経費の軽減→→より潤滑な活動が実現
- 指定管理者からの支援(会議室や倉庫の提供、広報活動の協力の他)
→→指定管理者を介した公園内の他団体との連携が強まる
→→共同でのイベントや研修の実施機会が向上する→→活動の幅を広げる効果が認められる
- 公園外のイベント等の活動にも積極的に力を入れていること
→→より広範に他団体とのネットワークを形成
- 広域公園の指定管理者が公園内で多様な活動のプラットフォームの役割を強める
→→団体間の連携を活発化させる